

神栖市改革チャレンジプラン
取組状況検証シート
(平成28年度取組)

目次

No	プラン名	担当課	自己評価	ページ
1	課題対応力を持つ人材の育成	職員課	B	1
2	効率的な組織づくりと職員の定員管理の適正化	職員課	A	3
3	排水路事務事業の一元化	下水道課	B	5
4	事務事業の整理統合	行政改革推進課	B	7
5	市民協働意識の醸成	市民協働課	B	9
6	市民活動の活性化	市民協働課	C	11
7	届け市政情報	市民協働課	A	13
8	オープンデータ推進	行政改革推進課	C	15
9	マイナンバーカードの有効活用	市民課	B	17
10	地域防災力の充実強化	防災安全課	C	19
11	福祉総合相談支援体制の構築	社会福祉課	B	21
12	市民の健康の保持・増進や疾病予防の取組	健康増進課	A	23
13	公立教育・保育施設の認定こども園化の推進	こども課	B	25
14	学校の適正規模適正配置の推進	学務課	B	27
15	学校図書館機能の充実	中央図書館	B	29
16	市税等収納率の向上	納税課	A	31
17	補助金等の整理合理化	財政課	B	33
18	使用料・手数料等の適正化	財政課	B	36
19	税外収入体制の整備	財政課	C	38
20	国民健康保険の安定運営(保健事業実施)	国保年金課	B	41
21	普通財産の有効活用	契約管財課	B	43
22	公共施設等総合管理計画の策定	政策企画課	B	45
23	市道改修計画の策定	道路整備課	B	47
24	公園施設長寿命化計画の策定	施設管理課	B	49

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	1. 課題対応力を持つ人材の育成		担当課	職員課
推進項目	(1)行政経営力の向上	関連課等	行政改革推進課, 全課等	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目	8-1-(7)人材育成の有効活用及び資質向上		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	市民満足度の高い行政運営を推進するため、人材育成が実施できる組織作り、あわせて職員一人ひとりのスキルアップと意識改革を図ることを目的とする。			
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○現行の人材育成基本方針の見直しを図り、時代に即した人材育成を目指し取り組む。 ○職員(任期付職員含む)、非常勤嘱託員等に共通な認識、知識が必要となる研修を実施し、職にとらわれない特別研修を実施する。 ○派遣研修受講者のうち、長期間研修を受講した職員に対して、研修実績報告会等他の職員へ知識の還元、成果発表の場を検討する。 ○地方公務員法の改正にあわせ、現行の人事評価制度を改定し、再構築に取り組む。 			
実施方法	直営			
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ○職員一人ひとりの能力、資質の向上を図ることにより、市民満足度や行政運営へ反映できる。 ○研修実績報告会による知識、情報の共有を図り、職員一人ひとりのスキルアップへつなげる。 			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人材育成基本方針の策定	他自治体の情報収集等を含め作成中	検討及び策定作業											
		策定作業中											
		人事評価制度改定後試行						例規整備					
業務マニュアルの改定・策定	マニュアルを策定すべき業務の洗い出し・策定済マニュアルの改定(標準化)・未策定マニュアルの一部策定を実施	改定・策定											
		洗い出し・改訂・策定											
人事評価制度の実施	平成28年4月から実施	運用											
		上期評価						下期評価					
		システム構築, 評価の反映検討作業											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック

参照例規	神栖市職員の人事評価制度実施規程						
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/1532.htm						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	階層別研修を除く研修受講者数(人)	目標値	-	365	496	507	518
		実績値	354	749	791		
	達成度	%	205.2%	159.5%			
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	目標値	-					
	実績値						
	達成度	%					

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	1. 課題対応力を持つ人材の育成				担当課	職員課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	研修受講費助成金	61	46	19	80	80
		計	61	46	19	80	80
	歳出	職員研修事業	5,514	4,259	3,833	4,671	4,671
		人事評価等運用	754	1,728	1,387	491	491
		計	6,268	5,987	5,220	5,162	5,162
歳入－歳出		▲ 6,207	▲ 5,941	▲ 5,201	▲ 5,082	▲ 5,082	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	
	関連課等	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	計	1.2	1.7	1.7	1.7	1.7	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	引き続き、プラン設定時の基礎情報とするが、今後の研修実績を考慮しながら見直しが必要な場合には次年度以降検討したい。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	研修について、職員一人ひとりのスキルアップを図るとともに、職員の要望に応じるために、各種研修の周知を図ることができた。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	研修の実績について毎年度、研修ガイドとして作成している。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については、現行のとおりとするが、今後、研修の満足度、理解度を検討したい。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	人材育成基本方針は、平成29年度上期に改定する。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	次年度予算編成時に研修費の算定のため、調査、資料収集して適正な予算編成に努めている。
7. その他()		
プラン変更	人材育成基本方針のスケジュールを平成29年上期策定に変更	
自己評価	B: 計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 人材育成基本方針の改定については、年度内に完了しなかったものの、人事評価制度における評価結果の給与への反映方針の決定や運用基準細目の調整、給与条例をはじめとした例規改正作業等は概ね順調であった。 また、新たな制度による人事評価を実施することができたほか、業務マニュアルが策定できたことから、B評価とした。 今年度上期中には人材基本方針方針改定を目指す。

行財政改革推進委員会の所見
○「課題対応力を持つ人材の育成」のためには、「中核都市」としての姿をどう描くかの視点が必要である。民間企業と比べると、「課題」そのものの追求に厳しさ、苦しみがないように感じる。
○若年層のスキルアップ(特に対応力)と併せ、公務員の資質に係るコンプライアンス(法令遵守)について、人材育成基本方針に盛り込まれたい。
○職員の現時点でのスキルレベルを把握することが必要である。民間が取り入れているスキル開発プログラムの導入を検討されたい。
所見を踏まえた改善内容
○神栖市人材育成基本方針では、これまで以上に、公務員としての資質向上やコンプライアンスを常に意識する人材を育成するためのプログラムの導入を検討していきます。
○人事評価の結果に基づき、各職員のスキルを把握することで、職員一人ひとりに必要なスキル向上、開発に活用していきます。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	2. 効率的な組織づくりと職員の定員管理の適正化		担当課	職員課
推進項目	(1)行政経営力の向上	関連課等	行政改革推進課, 全課等	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	
総合計画	章一節一項目	8-1-(3)時代に適合した組織づくり, 8-1-(7)人材の有効活用及び資質向上		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	効率的・効果的な行政運営を実現するための組織づくりと, 併せて市民ニーズへの対応等の行政課題に的確に対応できる適正な職員の定員管理を図る。			
プランの取組内容	効率的な行政運営を図る組織づくりと行政課題に対し的確に対応できる職員数の適正管理に継続して取り組む。			
実施方法	直営			
期待する成果	限られた財源と人材を維持していくことにより効率的かつ機動的な行政運営を行い, 人件費の抑制を図る。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	職員の適正な定員管理の検証	<p>上記の取組を進めるとともに, 効率的・効果的な行政運営ができてきている組織となっているかなど, 類似団体の状況等を比較し検討している。</p> <p>退職管理(再任用調査, 勸奨退職調査) →</p> <p>人員配置ヒアリング, 事務量調査 →</p> <p>新規採用職員採用試験 →</p>											
	組織の検証	<p>行政改革推進課と連携し, 各事業主管課における次年度以降の事務事業等をヒアリングするとともに現状業務量を分析し, 組織の検証に努めている。</p> <p>人員配置ヒアリング, 事務量調査 → 次年度組織決定 → 例規改正</p>											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載										チェック			
参照例規	神栖市行政組織条例, 神栖市行政組織規則, 神栖市職務権限規程 等												
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/1532.htm												
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30						
	職員数(人) ※各年度4月1日現在	目標値	-	582	580	578	576						
		実績値	584	582	576								
		達成度	%	100.0%	100.7%								
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30						
	目標値	-											
	実績値												
	達成度	%											

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	2. 効率的な組織づくりと職員の定員管理の適正化				担当課	職員課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	計	0	0	0	0	0
		人件費(給与、共済費)	4,014,680	4,051,998	4,018,523	4,032,476	4,032,476
	歳出	計	4,014,680	4,051,998	4,018,523	4,032,476	4,032,476
		歳入一歳出	▲ 4,014,680	▲ 4,051,998	▲ 4,018,523	▲ 4,032,476	▲ 4,032,476
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下第1位	担当課		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	関連課等		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	計		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	効率的・効果的な行政運営を実現するための組織づくりを図っている。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	行政改革推進課と連携し、各課等とのヒアリングを行うなど連携して取り組んでいる。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	組織の実態や問題点を把握・検討している。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	毎年度、各事業所管課等の事務事業の推移等を考慮しながら検討している。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	短縮化は検討していないが、詳細の分析は図っている。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	事業費という名目ではないが、定員管理を含め、人件費の適正管理に努めている。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	A: 計画を上回る取組状況だった。	所属長コメント 職員数はプラン完結年の目標数まで減員が進んでいるが、事務事業等ヒアリングを基に人員配置を行なった結果、住民サービスの低下を生じるような状況にはないことから、効率的な行政運営が行えているものと判断し、A評価とした。 しかしながら今後は、茨城国体への対応のほか、業務量の増大が想定されることから、効率的な行政運営を目指しつつも、行政需要に応じた柔軟な定員管理を考えていく。

行財政改革推進委員会の所見
○職員数の減員は目標数に達しているようだが、市民サービスの低下にならないよう、効率的な行政運営をされたい。
○民間企業での企画力、行動力、実践力を活かすために、35才まで職員の採用年齢を引き上げるのはどうか。
○組織が「効率的・効果的」と判断する基準を具体的に、可能であれば定量化して示すべきである。【継続】
所見を踏まえた改善内容
○市民サービスの低下を招かないよう職員一人ひとりの資質向上を図るとともに、適正な職員数を確保していくよう努めます。
○新規採用職員の年齢制限の引上げについては、効率的な行政運営を図るために、慎重に検討していきます。
○組織が「効率的・効果的」との判断基準となる指標について、検討していきます。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	3. 排水路事務事業の一元化		担当課	下水道課
推進項目	(1)行政経営力の向上	関連課等	道路整備課, 農林課	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	
総合計画	章一節一項目	8-1-(3)時代に適合した組織づくり		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	現在の排水路関係事務事業の複数課所管, 雨水排水・農業用排水・道路排水という機能別による分散所管を改め, これらを一元化することによって, 事務の効率性や機能性を向上させるとともに, 市民の相談, 要望等への迅速な対応を図る。			
プランの取組内容	近年の土地利用の変化や進行に伴い, 農業用排水路が目的外の生活排水を受入れる一般排水路化といった状況もあることから, 雨水排水・生活排水・農業排水を担う排水路施設に関し, 一括管理をする新たな課を設置して, 事務事業の効率化や機動力を向上させる。			
実施方法	直営(一元管理を行う課を組織する。)			
期待する成果	事務所管の一元化により, 市民目線からすると相談先や問合せ先が分かりやすくなり, 行政の透明性や信頼性の向上につながる。また, 市域全体を見通した整備計画や維持管理計画の策定が容易になり, 事務事業の効率化と市民要望・相談等への迅速な対応が図れる。			

実施細目	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施細目のH28取組状況	組織改革(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の協議, 案の作成 ・総合窓口事務の詳細協議 ・総合窓口の設置準備 	策定												
			事務事業(案)の作成			窓口設置の詳細協議						準備			
	関係例規等の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体系, 事務分掌等の協議 ・申請手続き, 書類様式等に関わる協議, 改正 	改正												
			協議						改正						
	事務統合スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備課内に排水路の総合窓口を設置(平成29年4月) 													
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載											チェック				
参照例規	下水道条例施行規則, 法定外公共物管理条例施行規則														
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/item/41707.htm (排水路総合窓口)														
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30								
	事務統合作業の進捗度(%)	目標値	-	50	80	90	100								
		実績値	20	50	80										
		達成度	%	100.0%	100.0%										
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30								
		目標値	-												
		実績値													
		達成度	%												

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	3. 排水路事務事業の一元化				担当課	下水道課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
			0	0	0	0	0
	歳出	計	0	0	0	0	0
		歳入-歳出	0	0	0	0	0
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	関連課等		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	計		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	現行どおりとする。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	関係課で連携して取り組んでいる。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	申請に関わる様式、添付書類等を統一。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	現行どおりとする。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	スケジュールに沿って、排水路の総合窓口を設置。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	—
7. その他()		
プラン変更	<ul style="list-style-type: none"> ・事業終了年度を平成29年度→平成30年度とした。 ・数値指標の目標値をH29:100(%)→90(%) H30:設定なし→100(%)とした。 	
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 平成29年4月から、道路整備課に排水路の総合窓口を設置し、ワンストップサービスに取り組んでいく。また、今年度からは総合窓口業務の課題等を検証し、排水施設の維持管理及び整備も含めた組織化を検討していく。

行財政改革推進委員会の所見	
<p>○総合窓口設置における課題を検証し、是正処置をし、サービスの向上につなげられたい。</p> <p>○市民からの要望に応えられるよう、排水路関連業務の効率化を図ることのできる課を組織されたい。【継続】</p> <p>○事務の効率性、機能性の向上(変化)をどのように検証するのか、定量化できることは定量化して示されたい。【継続】</p>	
所見を踏まえた改善内容	
<p>○総合窓口の実務を通して効果と課題を整理し、機能的な窓口にしていくための検証を行いながら、ワンストップサービスの向上につなげていきます。</p> <p>○排水施設の維持管理や排水路の整備などの業務についても、組織化へ向けて検討していきます。</p> <p>○組織化の検討には、排水路関連業務の業務内容、事務量、人工等の具体的な数値等についても協議が必要であることから、今後これらを検証していきます。</p>	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	4. 事務事業の整理統合		担当課	行政改革推進課
推進項目	(1)行政経営力の向上	関連課等	全課等	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目	8-1-(9)行政改革の更なる推進		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	限られた行政資源(人・資源・施設・情報)を活用した, 効率的かつ効果的な行政運営を実現する。			
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価結果等から, 各課の事務事業を把握し, 整理統合について所管との調整を行う。 職員の「カイゼン意欲の向上」を図るため, 整理統合手法のひとつである職員提案制度を見直す。 事務改善委員会の開催。 			
実施方法	直営			
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率化を図り, より効果的なサービス提供を図る。 職員のモチベーションアップ 			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	方式検討 (職員提案制度見直し等)	職員に対してアンケート調査を実施。											
	職員提案制度活用	職員提案の随時募集実施。											
	事務事業の整理統合	平成29年4月を目途に調整していた事務について整理統合。交通安全協会事務局事務を市民生活課から防災安全課へ統合等。											
事務改善委員会の開催	案件なしのため, 開催なし。												
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載										チェック	レ		
参照例規	神栖市事務改善委員会規程, 神栖市職員の提案に関する規程												
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/1435.htm (行政改革推進課)												
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30						
	整理統合事務数(事務)	目標値	-	3	3	3	3						
		実績値	0	15	7								
		達成度	%	500.0%	233.3%								
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30						
	目標値	-											
	実績値												
	達成度	%											

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

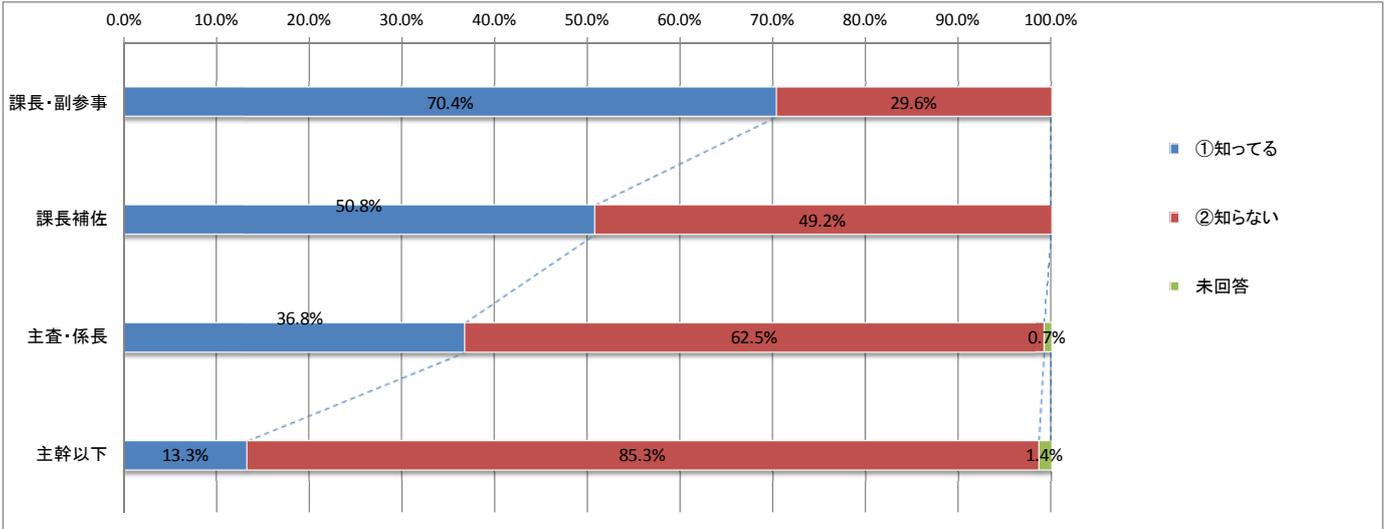
プラン名	4. 事務事業の整理統合				担当課	行政改革推進課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	計	0	0	0	0	0
		報償費				21	21
	歳出	計	0	0	0	21	21
歳入－歳出		0	0	0	▲ 21	▲ 21	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.2	0.2	0.4	0.4
	関連課等						
	計		0.0	0.2	0.2	0.4	0.4

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容について再確認を行った。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	事務事業の整理統合では、事務所管課と統合に向けた事務調整の進捗確認を行った。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	アンケート調査結果、事務事業の整理統合の進捗状況などを整理した。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	再検討し、現行どおりとした。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	再検討し、現行どおりとした。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	職員提案制度に係る報償費について追記した。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント ・事務事業の整理統合については、数値指標を達成した。引き続き、庁内で提案を募るなどして、整理統合を進めたい。 ・職員提案制度については、職員に対して意識調査を実施。平成29年度は、積極的な周知を図るとともに、取組の結果によって見直しを検討していきたい。

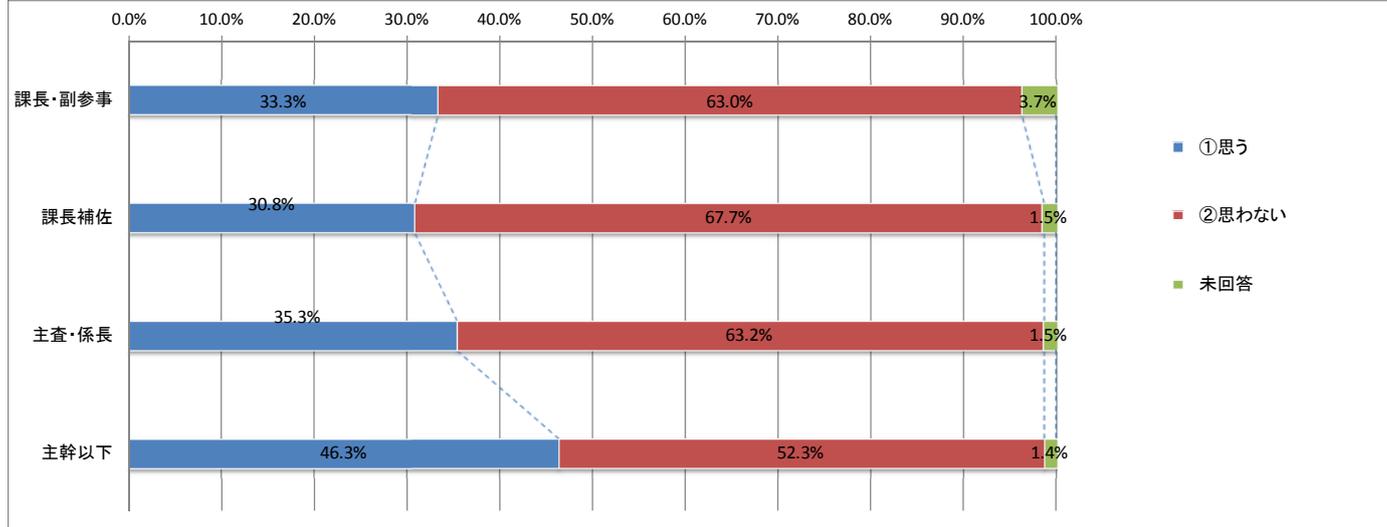
行財政改革推進委員会の所見
○改善提案の大募集を実施したことを評価する。さらに市役所幹部職員の業務改善提案に対する意識改革に努められたい。職員の改善提案意欲の涵養、強化にさらなる努力を期待する。 ○職員提案制度は、提案件数を成果指標として掲げてはどうか。【継続】 ○整理統合を達成した事務を一覧表にとりまとめ、成果の見える化と逆戻りの防止を図ってはどうか。【継続】
所見を踏まえた改善内容
○職員提案制度については、業務改善の取組として、効果的なものとなるよう見直しを図りながら、継続して運用していきます。また、今後は、提案件数等、一定の目標値を掲げて取り組んでいきます。 ○事務事業の整理統合については、所見に頂いたとおり、経過等を一覧にとりまとめていきます。

■ 行財政改革アンケート調査（職員提案制度など） H28.6実施結果 抜粋
 ・質問5 提案制度意識調査

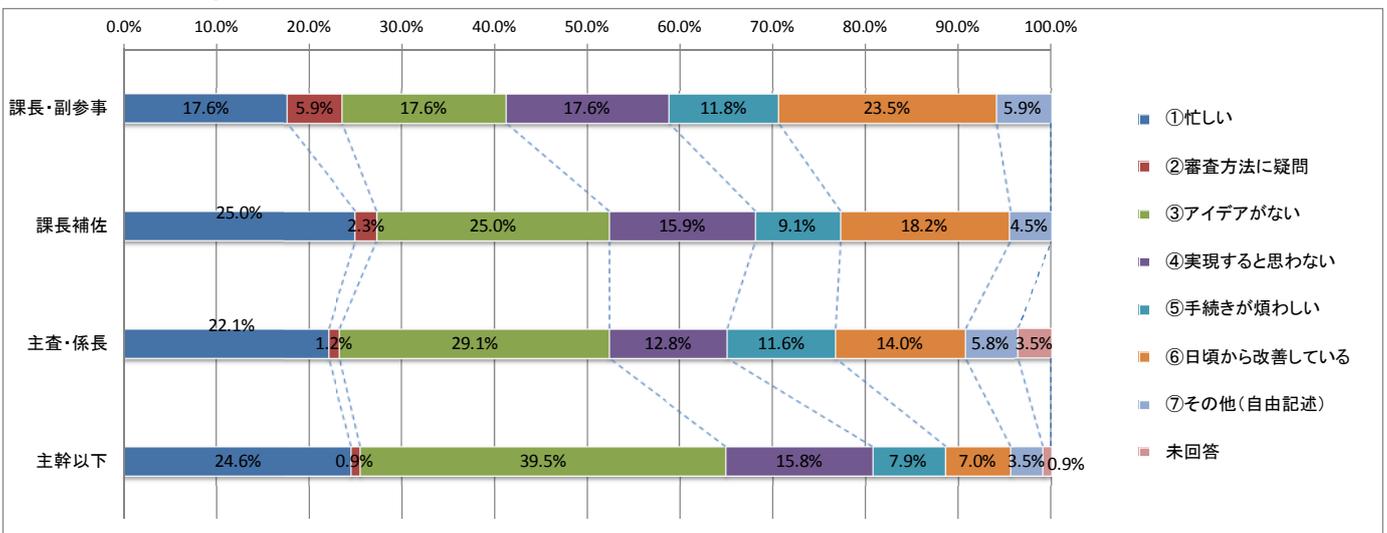
Q1 「職員提案制度」を知っていますか？



Q2 職員提案制度を活用したいと思いますか？



Q3 思わないとした理由（Q2②選択者 251人）



神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	5. 市民協働意識の醸成		担当課	市民協働課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	全課等	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成30年度
総合計画	章一節一項目		1-1-(1)市民との役割の明確化 1-1-(2)市民主体のまちづくりの促進	
総合戦略	基本目標		4安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる	
プランの目的	ファシリテーションスキルを用いた合意形成型会議(サロン)の進行役(ファシリテーター)を養成し、市内各所でサロンを開催して幅広い年齢層の市民からより多くの意見を集め、協働のまちづくりに反映させるとともに、サロン参加者の協働意識の醸成を図る。			
プランの取組内容	ファシリテーター養成講座を開催して市民ファシリテーターを養成し、市内各所でまちづくり地域サロンを開き市民の意見を聴取する仕組みを作る。同講座を職員にも受講してもらい、ファシリテーション型会議を庁内会議にも導入していく。 また、サロン参加者のまちづくりに対する意識変化を分析し、「協働のまちづくり推進指針」の見直しを行う。			
実施方法	委託			
期待する成果	サロンを開催し市民の意見を聴取する仕組みができれば、今よりも多くの市民の声を市政に反映することができる。また、サロンに参加した市民自らが市政について考えるきっかけになるため、協働のまちづくりの意識醸成が期待される。			

実施細目 のH28 取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			ファシリテーター養成講座の開催	ファシリテーター養成講座を開催 ※開催日程は別紙										
ファシリテーター(団体)活動の支援	サロンの開催													
協働のまちづくり推進指針の見直し	サロンの有効性の検証													
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載			チェック	レ										
参照例規														
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuiibaraki.jp/10889.htm													
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30								
			目標値	-	0	25	30	35						
	実績値	0	0	19										
	達成度	%	-	76.0%										
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30								
			目標値	-	0	0	2	4						
	実績値	0	0	1										
	達成度	%	-	-										

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	5. 市民協働意識の醸成				担当課	市民協働課		
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込	
			0	0	0	0	0	0
	歳出	協働のまちづくり研修 業務委託			195			
		ファシリテーター養成 講座業務委託				2,024	880	376
		計	0	195	2,024	880	376	
歳入－歳出		0	▲ 195	▲ 2,024	▲ 880	▲ 376		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			1.5	2.2	1.3	1.3	
	関連課等				0.9	0.9	0.9	
	計		0.0	1.5	3.1	2.2	2.2	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	プランの目的、プランの取組内容について表現を見直した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	ファシリテーター養成講座やサロンの開催にあたり、職員の参加(見学)を促している。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	データは常に更新している。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値目標をファシリテーター養成講座の修了者及びファシリテーター経験者の合計とする。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	ファシリテーター養成講座とまちづくり地域サロンの成果を検証し、平成30年度に指針を見直す。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	ファシリテーター養成講座の延長に伴って修正した。
7. その他()		
プラン変更	<p>・プランの目的、プランの取組内容の表現を見直した。</p> <p>・ファシリテーター養成講座の開催については、平成29年度までとし、協働のまちづくり推進指針の見直しについては、市民の「協働のまちづくり」に対する意識を醸成するために開催しているサロン(ファシリテーションスキルを用いた合意形成型会議)の有効性を十分検証しながら、平成30年度に市民協働のまちづくり推進会議を開催して行うこととする。</p>	
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	<p>所属長コメント</p> <p>平成28年度に実施したファシリテーター養成講座は、受講生より概ねの評価を得ており、ほぼ計画どおりの実績をあげられたものと思われる。また、講座のスキルを生かし、地域を対象とした地域サロンをはじめ様々なサロンを開催した結果、多くの市民から、今後とも続けてほしい等の高評価を得ることができた。については、このサロン方式による市民自らが話し合い市民協働を推進していく手法について、市民とともに十分検証し協働のまちづくり推進指針の見直しに取り入れていくため、検証期間を延長するもの。</p>

行財政改革推進委員会の所見	
<p>○数値指標にあるファシリテーター経験者の総数について、平成28年度の達成度が76%と未達成になっている。また養成に時間がかかるなどネガティブな印象を受ける。市に愛着があり、行政に積極的に関わりたいと考えている人は多い。運用をしっかりと考え、実用し、効果のある取組をされたい。</p> <p>○サロンの有効性については、内容、出席者からのアンケート回答等を分析した上で、サロンの有効性、強い点、弱い点、今後の発展の可能性について取りまとめられたい。</p> <p>○このプランの成果指標に「まちづくり地域サロンの開催回数」を掲げているが、本来の目的「市民の意見を市政に反映する」に沿った成果指標を掲げられたい。【継続】</p>	
所見を踏まえた改善内容	
<p>○ファシリテーターの技術は、サロンの運営を何度も経験しながら習得していくため、時間はかかってしまう。サロンを通じて、まちづくりに興味・関心の高い方を増やしていきながら、計画的に取り組んでいきます。</p> <p>○サロンの有効性等については、アンケート結果を分析し、当市にあったサロンの運営を展開していきたい。今後の進め方についても、市民ファシリテーターと十分協議しながら検討していきます。</p> <p>○サロンで出た意見を市政に反映するには、必要な段階を踏んでいかなければならないので、引き続き関係課と連携しながらサロンを運営していきます。</p>	



気軽に！楽しく！中身濃く！ ファシリテーター養成講座



まずは話し合いの場から楽しく変えてみよう♪

協働のまちづくりには「対話」が必要なんです！

誰でも**すぐに実践**できる最先端の**話し合いのコツ**が学べます！！

日程

第1回	5月15日（日）	協働のまちづくりのコツ（初級編）
第2回	6月19日（日）	主体性を引き出す会議ファシリテーション（初級編）
第3回	7月24日（日）	サロン開催実践編研修
第4回	9月11日（日）	サロン見本編
第5回	10月 2日（日）	協働のまちづくりのコツ（中級編）
第6回	10月23日（日）	主体性を引き出す会議ファシリテーション（中級編）
第7回	12月11日（日）	サロン本番
第8回	1月22日（日）	市民活動力アップ研修

※ 研修内容は変更になる場合があります。

いずれも午前10時から午後4時



※**サロン**とは、意見を出し合い聴くだけの通常のワークショップではなく、参加した人に「まちづくりって楽しいんだっ」と感じてもらえる話し合いの場です。

会場 神栖市役所3階 301会議室 ほか

定員 先着30名

参加費 無料です！

講師紹介

日本一楽しいと噂のふたりのかけあいをお楽しみに！



一般社団法人

会議ファシリテーター普及協会 代表理事 **釘山 健一さん**



一般社団法人

会議ファシリテーター普及協会 副代表 **小野寺 郷子さん**

「しずおかNPO市民会議」代表として、NPOの中間支援活動にも取り組む、市民活動のスペシャリスト。ファシリテーターの養成だけではなく、全国のまちづくりの現場で活躍している。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	6. 市民活動の活性化		担当課	市民協働課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	市民協働課	
事業開始年度	平成21年度		事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目		1-1-(2)市民主体のまちづくりの促進	
総合戦略	基本目標		4安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる	
プランの目的	市民活動の拠点である市民活動支援センターにおいて、市民活動団体の活動情報を収集・発信し、市民と市民活動団体とのコーディネートを行い、市民活動の活性化を図る。			
プランの取組内容	市民活動支援センターがツイッター、ホームページ、情報紙等を活用して市民へ情報発信を行うため、支援センターの情報収集・発信機能を充実させる。			
実施方法	直営			
期待する成果	市民活動支援センターの情報収集・発信機能を充実することにより、市民活動団体の活動が活性化し、市民活動支援センターの利用促進が期待される。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施細目のH28取組状況	ツイッターの発信	ツイッターの活用方法について検討	検討						実施					
			ツイッターの紹介(ニーズ調査)						検討					
	情報紙の発行	支援センター情報紙「しえセンだより」発行	検討						実施					
									発行(11月・3月)					
嘱託職員等の配置	職の設置について協議を行い、センター長とパソコン指導員を平成29年度から設置。	検討												
								入選(1月)任用(3月)						

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載

チェック レ

参照例規	神栖市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例, 神栖市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例施行規則						
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/ksc/						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	-	180	183	186	190
	実績値	177	179	178			
	達成度	%	99.4%	97.3%			
	市民活動支援センター登録団体数(団体)	目標値	-	820	850	880	910
		実績値	796	954	925		
達成度		%	116.3%	108.8%			
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	-				
	実績値						
	達成度	%					

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	6. 市民活動の活性化				担当課	市民協働課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	複写機使用料	328	339	380	380	380
		計	328	339	380	380	380
	歳出	臨時職員賃金	3,081	3,617	3,419	6,384	6,384
		コピー用紙等消耗品	200	244	350	372	372
		計	3,281	3,861	3,769	6,756	6,756
歳入－歳出		▲ 2,953	▲ 3,522	▲ 3,389	▲ 6,376	▲ 6,376	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.3	0.4	0.5	0.5	0.4
	関連課等						
	計		0.3	0.4	0.5	0.5	0.4

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を再確認した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	職員課と職(嘱託員)の設置について協議が整った。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	利用状況を常に集計し、登録団体情報は更新している。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	内容確認し、当初どおりとした。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	ツイッターの発信の実施時期について平成29年度に延期。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	内容を確認し、当初の計画通りとした。
7. その他()		
プラン変更	ツイッターの発信についてスケジュールを変更(延期) 支援センターにおいてツイッターを紹介したが、登録団体の反応は薄かったため、活用方法の検討が遅れたため、ツイッターの配信時期を延期する。	
自己評価	C: 計画にやや遅れが生じた	所属長コメント 平成28年度の取組において、センター内で収集した情報を基に情報紙「しえセンだより」の発行を行った。ツイッター向けの活動状況やイベントなどのリアルタイムな情報については、センター外での取材が前提となるが、職員配置の関係から、外に出る取材ができなかったため、ツイッターを発信するまでには至らなかった。平成29年度からは嘱託職員を配置し、体制を強化したことから、ツイッターでの情報発信が可能となる見込みである。

行財政改革推進委員会の所見

○活動支援センターの存在があまり知られていない。グループをつくりやすいPTAやスポーツ少年団、コミセン等でPRしてはどうか。分かりやすい言葉で誰でも簡単に利用できるというアピールが必要である。

○平成28年度から支援センター情報紙の発行、平成29年度からはセンター長とパソコン指導者の設置を行ったとのことであるが、今後は、その効果を検証し、市民サービスの向上につなげられたい。昨年度に引き続き、ツイッターの発信では、若年層(特に18～35歳)の参加意識を高めるような情報発信を心掛けられたい。

○このプランの推進により市民活動に興味を持つ市民が増えていくのなら、そのことを指標に掲げるなど、状況が見えるよう工夫をされたい。【継続】

所見を踏まえた改善内容

○市民活動支援センターの周知としては、施設利用案内を市内16カ所ある掲示板に掲示しています。今後は、登録団体の募集チラシにイラストや写真を用いて、具体的に利用する際のイメージがしやすいように工夫し、掲示していきます。

○情報紙を見た市民からの問合せが多数あったと、「しえセンだより」の特集で取り上げた団体から報告がありました。広く市民の参加意識を高められるよう、情報紙やツイッターなど、各媒体の特徴を生かした情報発信に努めていきます。

○職員体制を見直し、安定的な施設運営が行えるようになったため、今後は情報発信を強化し、成果指標に掲げること検討していきます。



神栖市市民活動支援センター通信

しえセンだより

発行:市民活動支援センター

TEL:0299-77-8725

Mail:ksc2009@intio.or.jp

創刊号
(平成28年11月)

New Topics

市民活動支援センター通信始めます!!

現在市民活動をしている団体、またはこれから活動したい皆さんへホットな情報をたくさんお届けしていきたいと思っています。

創刊号では、市民活動支援センターについて紹介します♪

市民活動支援センターってなんだろう?



Q 市民活動支援センターとは?

A 「仲間を作りたい」「経験や知識を役立てたい」「団体の活動を発展させたい」など、市民がボランティアや社会貢献活動を行う際の拠点として、情報交換や相互連携ができるようお手伝いします。

Q 誰でも利用できるの?

A 営利を目的とせず、主体的に社会貢献活動を行っている、または行おうとしている市内の団体や個人の方が利用できます。(施設や備品の利用には登録が必要です)

Pick up

現在、色々な分野で活動されている83団体が登録しています。

～ 今号では健康・医療系の団体を紹介します!! ～

◆神栖シルバーリハビリ体操指導士会

◆地域医療を考える女性の会(プチトマト)

◆神栖市食生活改善推進員連絡協議会

◆神栖市シニアクラブ連合会

◆かみす笑いクラブ ひまわり

◆いばらき UCD CLUB

(順不同)



ちょっと休憩



『しえセンだより』の発行に伴い、イメージキャラクターの“かもめん”が誕生しました。たくさんの情報を皆さんにお届けするために、大きな赤いポシェットを持っています。ぜひ、応援してください!!



かもめん ★★

市民活動支援センターを裏で牛耳るボス。優しい顔とは裏腹にこう見えて野心家。空を飛ぶことが苦手。

攻撃力 ★★★
防御力 ★
速度 ↓

技:
①無言攻撃 攻撃力+10
②リフレッシュ 状態異常回復

施設紹介



平泉コミセンの階段を
上がった左手に
市民活動支援センターが
ありますう…

事務スペース
打ち合わせや作業などに
最適です

作業スペース
大判プリンターや
印刷機もご利用
頂けます

パソコンコーナー

交流スペース
市民活動の打ち合わせ
や交流のための
フリースペースです

掲示ラック
団体の広報紙などを
掲示しています

受付
笑顔のスタッフが
お待ちしております

出入口

階段



- ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
- ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
- ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
- ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
- ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

ご相談ください

ご相談ください



スタッフ紹介



市民活動の応援を
しています!!!

増田
(まさー)



皆さんの活動の力に
なれるように頑張ります!!

土生
(メットウ)

少しでも役に立
てれば嬉しいです!!



皆さんの活動を全力で
サポートします!!

中村
(せんせ)



市民活動に興味のある方!
まずは、ご相談ください。

小松
(姉さん)



岩瀬
(がんちゃん)

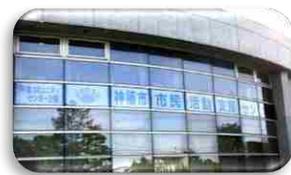
～ 神栖市市民活動支援センター ～

【開館時間】: 火曜日～金曜日 《9:00～19:00》 土日・祝 《9:00～17:00》

【休館日】: 毎週月曜日・年末年始(12月29日～1月3日)

【住所】: 〒314-0146 神栖市平泉2751-2(平泉コミュニティセンター2階)

【連絡先】: ☎ 0299-77-8725 Fax 0299-77-8726 ✉ ksc2009@intio.or.jp





New Topic

登録団体の冊子が出来ました!!

登録団体の活動内容や活動予定、写真などを掲載。
他にも、市民活動支援センターの施設紹介や、各種サービスの案内など盛りだくさん!!
市民活動を始めたい方や、関心のある方に必読の一冊です。
当センター特設ラックにて配布しています。



体験レポート

『かみす笑いクラブ ひまわり』さんに、おじゃましました!

笑いヨガってどんなもの? 会長さんに聞いてみました

ヨガといっても難しいことはありません。
動きやすい服装で無理なポーズをとることなく
声を出して楽しく笑うだけでOK!
誰にでもできるのが『笑いヨガ』のいいところです。



会員さんの声

- ★『笑う門には福来る』です
- ★楽しいので遠方からバスに乗ってきています
- ★毎週金曜日がとても楽しみで、そのために体調を整えています



最後にひと言!
興味を持たれた方は、気軽な気持ちで見学にお越しくださいね♪

センタースタッフ がんちゃん Let's Try!

体験取材に
行ってきました!



手拍子が始まりの合図!
深呼吸をしてスタート!
ユニークな掛け声に合わせて
ワハハと笑うと、いつの間にか
心も身体もほっかぽか。
楽しいから笑っているのか?
笑っているから楽しいのか?
笑うってこんなに楽しいんです
ね。

あっという間の1時間、たくさん
さんの素敵な笑顔をありがとう
ございました。

《問合せ先》～ 市民活動支援センター ～
☎ 0299-77-8725



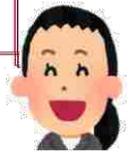
- Q? どんな人が利用できるの?
- A 神栖市内で市民活動(ボランティア)を行う団体・個人です。
- Q? 登録手続きは必要?
- A はい、登録が必要です。
「登録申請書」を記入後、窓口に提出してください。
- Q? 申請書提出後、すぐに利用できるの?
- A 登録完了までに約一週間かかります。

Pick up

～ 今号は**福祉系**の団体を紹介します!! ～

- ◆サタデーズ《障がい者・高齢者支援など》
- ◆ひとみの会《点字による視覚障害者支援》
- ◆ほほえみ《高齢者向け宅配弁当作成》
- ◆介護者の会 わかば《介護者の会》
- ◆NPO法人 あすなる会《障がい者就労支援など》
- ◆ひとやすみの会《アスペルガー症候群についての情報交換》
- ◆NPO法人 ハートスペースあゆみ《障がい者就労支援》
- ◆NPO法人 シニアネットワークかみす《高齢者の移動サービスなど》
- ◆KIRAKIRA《高齢者の生き甲斐づくり》
- ◆ANAK(アナク)《薬物依存者の家族支援》
- ◆わくわくサロン知手団地《高齢者の生き甲斐づくり》

気になる団体がありましたら、
お気軽にご相談ください。



◆ 次号「しえセンだより」から登録団体のイベント情報や会員募集などの掲載可能になります。
ご希望の方は、市民活動支援センターまでご連絡ください。

◆ 3月～5月は混雑が予想されます。
機器等の利用は予約優先となりますので、事前予約をお勧めします。

お知らせ

よろしくお願ひします



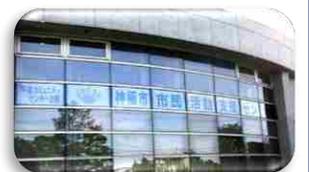
小松姉さんのつぶやき

みなさん、神栖市には様々な野鳥が飛来してくることをご存じですか?
支援センターでは「波崎愛鳥会」が撮影した可愛い鳥たちが飛んでいます。
ぜひ、覗いてみてください!



～ 神栖市市民活動支援センター ～

- 【開館時間】: 火曜日～金曜日《9:00～19:00》 土日祝日《9:00～17:00》
- 【休館日】: 毎週月曜日・年末年始(12月29日～1月3日)
- 【住所】: 〒314-0146 神栖市平泉2751-2(平泉コミュニティセンター2階)
- 【連絡先】: ☎ 0299-77-8725 Fax 0299-77-8726 ✉ ksc2009@intio.or.jp



神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	7. 届け市政情報	担当課	市民協働課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	全課等
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	1-1-(4)広報・公聴の充実	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	平成26年度に行った広報効果測定の結果に基づき、市民が必要とする市政情報を、ITを含めた様々なメディアを用いて、効率的・効果的に届けること。		
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○若年層に向け、スマートフォン等で広報紙を閲覧できる電子書籍の活用 ○ツイッター等のSNSを活用したイベント情報などのリアルタイム発信 ○広報紙、ホームページ、メールマガジン、ツイッターの連携を強化するとともに、メディア特性を生かした情報発信を行う。 		
実施方法	直営		
期待する成果	情報発信を充実させることにより、市民と行政との情報共有化が図れ、スムーズな行政運営が可能となる。また、SNSを活用し、イベント情報等をリアルタイムで発信することにより、イベント等の活性化が図れる。		

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施細目のH28取組状況	広報紙電子書籍の活用	昨年導入した電子書籍サイト「イバキイブックス」内に、7月から市の発行物を集めた特設サイト「かみすebooks」を立ち上げた。また、広報紙を配信しているアプリ「広報紙」の名称を、9月に「マチイロ」に変更し、機能を強化した。	実施継続											
			実施継続											
	SNSを活用したリアルタイム発信	イベント開催時にタブレットを活用し、リアルタイムに情報を発信した。	機器準備				実施継続							
				研修実施		研修実施								
	情報連携強化に係る見直し	平成28年4月から、市民協働課において市ホームページの管理運営をするよう所管換えを行い、IT活用を含めた広報担当部署の統一化を図った。	実施継続											
			実施継続											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック レ

参照例規							
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/1487.htm (広報)						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	500	1,000	15,000	17,500	
	広報紙を掲載する電子書籍等閲覧数(件)	実績値	0	342	15,220		
		達成度	%	68.4%	1522.0%		
	SNSの閲覧数(ツイッターフォロワー数)(人)	目標値	3,000	3,500	4,000	5,000	
		実績値	2,700	2,574	4,133		
達成度	%	85.8%	118.1%				
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	-				
	実績値						
	達成度	%					

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	7. 届け市政情報			担当課	市民協働課		
事業費 (単位:千円)	歳入	広報紙有料広告	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
		ホームページ有料広告	1,970	2,530	3,850	2,500	2,500
		計	2,740	4,990	5,730	5,000	5,000
	歳出	広報紙編集委託及び発行委託料	31,394	27,543	24,694	26,000	26,000
		メールマガジン配信サービス委託料	1,400	1,486	1,529	1,594	1,594
ホームページシステム借上料		3,120	2,268	2,268	2,268	2,268	
計	35,914	31,297	28,491	29,862	29,862		
歳入－歳出		▲ 31,204	▲ 26,307	▲ 22,761	▲ 24,862	▲ 24,862	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	
	関連課等						
	計	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を再確認した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	平成28年4月から、ホームページに関する事務を行政改革推進課から市民協働課へ移管した。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	閲覧数は常に把握をしている。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標(電子書籍等閲覧数)について、神栖市の専用ページを設けたことにより、平成28年度実績が当初見込みを大幅に上回ったため、目標値の見直しを実施。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	内容確認し、当初どおりとした。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	事業について精査し、事業費の見積をした。
7. その他()		

プラン変更	数値指標: 広報紙を掲載する電子書籍等閲覧数目標値変更 (変更前) (変更後) H29 1,500人 → 15,000人 H30 2,000人 → 17,500人
-------	--

自己評価	A: 計画を上回る取組結果だった。	所属長コメント 市政情報のリアルタイム発信については、ツイッター(SNS)の配信内容を見直し、写真を多く取り入れた臨場感のある情報発信に努めたことにより、フォロワー(閲覧者)数の増加につながったものと考え。また、SNSにおいて不適切な発信を行わないよう、各課の情報発信担当職員に対し研修を行い適切な情報発信に努めた。 電子書籍を活用した広報紙の閲覧については、神栖市専用のページを設け閲覧しやすい環境を整備したことから、閲覧数の増加につながったものと考え。
------	-------------------	--

行財政改革推進委員会の所見

○若い世代が興味を持てる情報発信の工夫を心掛けられたい。
○市民との窓口業務などを通して、市役所には市民からの問合せや苦情、喜びの声などが届いていると思われる。これらの情報を本人の了解を得るなどして、広報紙に掲載してはどうか。現在の広報紙は、市役所から市民への一方向の情報誌になっているように感じている。
○神栖市の将来に関わる課題については、広報紙でもっと詳細で丁寧な情報提供が必要である。ホームページに詳細記事を掲載した場合は、そのことを広報紙でわかりやすく紹介するなどの工夫があっても良い。

所見を踏まえた改善内容

○世代全体のバランスをとりながら、若年世代の話題を取り上げるなど興味を惹ける情報発信に努めていきます。
○現在、みんなの広場のページにおいて市民から依頼のあった情報を提供しています。また、市民アンケートの結果や「ふれあい懇談会」等で市民の意見を反映した情報も掲載しています。今後も、引き続き市民からの情報の発信に努めていきます。
○市の将来像に関わる課題や計画などについては、紙面の関係上広報紙で全体を掲載することは不可能ですので、広報紙にて概要を掲載し、詳細な情報は「QRコード」を付加しホームページの掲載ページへリンクできるようにするなど、情報連携に努めていきます。

神栖市公式ツイッター投稿内容

 茨城県神栖市
@kamisu_city

【親子で学ぼう！水素エネルギー】本日13時～16時中央公民館小ホールにて開催中！基調講演等の後には、燃料電池車キット組立体験や水素車試乗会も！参加費無料
city.kamisu.ibaraki.jp/item/41363.htm… #神栖 #水素 pic.twitter.com/e8wquXSDMC

[21:02 - 2017年3月18日](#)



 茨城県神栖市
@kamisu_city

【イベント情報】季節展示「お雛さま」ひなの部屋へようこそ■3/12(日)まで。御殿の中に内裏雛を置く「御殿飾り」。華やかな平安貴族の世界を感じさせてくれる雛飾りです。ぜひ一度ご覧下さい。入場無料。月曜休館。[問合せ]歴史民俗資料館Tel.0299-90-1234 pic.twitter.com/iGYJv7K67e

[19:05 - 2017年3月7日](#)



 茨城県神栖市
@kamisu_city

H29年度版健康カレンダーを配布開始■保健・福祉会館、市役所本庁、波崎総合支所・防災センター、歴史民俗資料館、中央図書館、各公民館・コミセン・児童館等。地区回覧でも配布します。bit.ly/2m1jTck [問合せ]健康増進課Tel.0299-90-1331 #神栖 pic.twitter.com/U74i1xHvBt

[22:05 - 2017年3月2日](#)



 茨城県神栖市
@kamisu_city

神栖市はさきさわやかランニング大会、開催中！シーサイドを選手の皆さんが駆け抜けていきます。pic.twitter.com/Jz8UaQMUUj

[17:02 - 2017年2月25日](#)





茨城県神栖市

@kamisu_city



かみす市民フォーラムが、文化センター・中央公民館で始まりました！生涯学習体験・発表会体験・展示の他、午後2時半からは、料理研究家の浜内千波さんの講演もあります！入場は無料。ぜひお越しください！#神栖 pic.twitter.com/NSBzux39Gn

19:03 - 2017年2月24日



茨城県神栖市

@kamisu_city



第10回かみす市民フォーラム■2/25(土)正午開場、文化センター・中央公民館。料理研究家の浜内千波さん講演、生涯学習体験・発表会体験・展示。入場無料・託児あり(要予約)。bit.ly/2kqbBKu[問合せ]市民協働課Tel0299-90-1171 #神栖 pic.twitter.com/5B05jzPakb

21:26 - 2017年2月2日

入場無料！ 第10回 かみす市民フォーラム
～知ろうよ男女共同参画 体験しようよ生涯学習～
◎市民協働課 ☎0299-90-1171

男女共同参画と生涯学習、この2つをちょっと考えて、楽しく学ぶ場。それが市民フォーラムです！

日時 **2月25日(土)**
正午開場

場所 **文化センター・中央公民館**

12:00 生涯学習を体験！(14:00まで)
14:00 オープニング(合唱/石神幼稚園)
14:15 開会・表彰
14:30 男女共同参画講演会

●展示ブースで体験！(文化センター)
ハンドトリートメントとアロマ
ことば遊び・俳句、折り紙
和洋裁縫物の小物、パルーンアート

●発表会で体験(中央公民館)
太極拳、フラダンス、スポーツ吹奏
ボイストレーニングと腹式呼吸の発声法

男女共同参画講演会
「健康で笑顔のある毎日は
家庭の食生活から」
食料の美味しさを引き出すコツ
や、あの食材に隠された働き
など、秘ネタも紹介！
お聞き逃しなく！

講師
料理研究家
浜内 千波 氏

1955年、徳島県生まれ。
1980年、東京でファミリーッキングスクールを開校。
専攻に食生活、以降「健康料理をちゃんと伝えたい」科學は、
もっともっと夢のある楽しいもの」との思いから、テレビ
や講演会、執筆など積極的に活動。食品メーカーをはじめ、
広告業界など幅広い分野で活躍している。

申込期限=2月15日(水)



茨城県神栖市

@kamisu_city



【テレビ埼玉に生出演！】鈴木副市長、カミスココくんが神栖市と「ツアーで見学！企業研究会」をご紹介します！就活生の皆さんお待ちしております♪
city.kamisu.ibaraki.jp/item/40977.htm... #神栖 #カミスココ #企業研究会 #テレビ埼玉
pic.twitter.com/0mGyxX713W

0:33 - 2017年2月2日



茨城県神栖市

@kamisu_city



鹿島神宮近辺で鹿島アントラーズ優勝パレードが開催されています。サポーターが大集中中！#神栖 #鹿島アントラーズ pic.twitter.com/rqQ2sEiV92

18:26 - 2017年1月28日





茨城県神栖市

@kamusu_city



港公園展望塔には、今年も初日の出を見るために、たくさんの方が集まりました！なんと、4時半から並んでいる人もいました。#神栖
pic.twitter.com/pFa7uzUwz0

14:35 - 2016年12月31日



ゆめたろう&やぎのすけ

@yagi_suda



チューリップも無事植え終わりました！初めての試みなのでドキドキでしたが、来てくださったみなさんが嬉しそうでした！良かったです*¥(°^°)*次回は少し大きくして開催かも！？#神栖市... ift.tt/2eMuxwC
pic.twitter.com/Ks1gOaTIGb

22:27 - 2016年11月11日



茨城県神栖市

@kamusu_city



ゆるキャラグランプリin愛顔のえひめ1日目！カミスココくん、張り切って神栖市をPR中です！会場の皆さん、投票お願いします!!☐#カミスココ #ゆるキャラ #kamusu #神栖 pic.twitter.com/LMNmkB0C30

18:11 - 2016年11月4日



茨城県神栖市

@kamusu_city



かみすフェスタ2016開催中！会場はたくさんの方でにぎわっています。ぜひ、遊びに来てください！
pic.twitter.com/lax7tAifNS

18:29 - 2016年10月14日



神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	8. オープンデータ推進		担当課	行政改革推進課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	全課等	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目		6-9-(2)多様な情報化の推進	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	市が保有するデータ(個人情報を除く。)をインターネット上に積極的に掲載し、官民間問わず広く活用されることで、地域住民へのサービスの向上につながる。さらに、民間企業等でのデータの二次利用による地域経済活性化も期待できる。			
プランの取組内容	統合型GIS活用を含めたオープンデータ(二次利用を前提に整備したデータ)推進。			
実施方法	直営			
期待する成果	職員間の情報共有強化を図るとともに、情報を公開することによる行政の透明性・信頼性の向上が期待される。また、二次利用によって、研究資料やアプリケーション開発に活用され、経済の活性化や新事業の創出、官民協働サービスの実現が期待される。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	ガイドライン(市の方針)	オープンデータ公開の基本的な考え方や取組の方向性を示す推進ガイドラインの作成と、公開までの作業手順について案の作成を進めた 											
	データ整備(収集・集約)	現統合型GIS上に搭載されているデータから、公開対象データを収集する方法の検討をすすめた 											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載										チェック			
参照例規													
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/1435.htm (行政改革推進課)												
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	オープンデータ公開数(個)	目標値	-	0	0	10	20						
		実績値	0	0	0								
		達成度	%	-	-								
	成果指標(単位)	目標値	-										
		実績値											
達成度		%											

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	8. オープンデータ推進				担当課	行政改革推進課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	計	0	0	0	0	0
	歳出	計	0	244	1,164	1,200	1,000
歳入-歳出		0	▲ 244	▲ 1,164	▲ 1,200	▲ 1,000	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課				0.5	0.5	0.5
	関連課等					1.0	1.0
	計		0.0	0.0	0.5	1.5	1.5

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容について再確認。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	推進にあたっては、ガイドラインを策定し、庁内全体の取組としていく。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	公開検討データについて再確認。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標について再確認。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	内容について再確認。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	事業費について再精査した。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	C: 計画にやや遅れが生じた。	所属長コメント ガイドラインについては、素案の作成までで策定には至らなかったため、平成29年度早期の段階で策定する。 データの棚卸しは終了のため、今後、庁内への説明とデータの作成から公開までの作業フローの策定を進める。

行財政改革推進委員会の所見
<p>○オープンデータを推進して、どういった面に役立てられるのかが具体的に見えてこない。先進的なチャレンジプランだが、“中核都市”神栖像を描く上でも役立つデータが見えてくると良い。事業をしたい等の市民からの希望を聞くなどはどうか。</p> <p>○スケジュールに遅れがあったとのことだが、プランの推進にあっては、PDCAサイクルをきちんと動かし、取り組まれない。</p> <p>○将来活用には、市民サービスの向上につながるものや災害時の個々の自宅から最寄りの一番近い避難場所に導くルートをスマホアプリ等で検索できるものを検討されたい。【継続】</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>○オープンデータの推進、将来活用につきましては、本年10月に初回データとして人口統計や避難所等の14項目のデータを公開しました。今後も段階的に公開するデータを増やすこととなり、この過程の中で利用者の意見を把握するため、アンケート機能の整備を検討していきます。また、他団体の公開事例も参考にしながら、より利用者の要望に沿ったデータ、利活用しやすいデータの公開を進めていきます。</p> <p>○ガイドラインの決定が遅れたため、本年10月が初回のデータ公開となりました。今後のプラン推進においては、スケジュールに遅延等のないよう、進捗管理を適宜実施し、進めていきます。</p>

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	9. マイナンバーカードの有効活用		担当課	市民課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	課税課	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目	8-1-(5)市民サービスの向上		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	個人番号(マイナンバー)カードを利用して、全国之最寄りのコンビニで住民票、印鑑証明、戸籍、税務諸証明等の発行を行い、利便性の向上を図る。			
プランの取組内容	マイナンバーカードの有効活用として証明書のコンビニ交付を実施し、サービスの向上に取り組む。マイナンバーカード申請後の未交付者に再通知を送付し、受け取りを促す。コンビニ交付のポスター掲示、広報紙、市HPへの掲載、啓発用ポケットティッシュの配布によるPR。			
実施方法	委託(平成28年4月1日よりコンビニ交付が開始)、直営(マイナンバーカード取得による利便性を広報。)			
期待する成果	市役所等の開庁時間外に、全国のコンビニ(コンビニ交付時間午前6時30分～午後11時)で、証明書が取得できるため、生活形態や必要性に応じ「いつでも、どこでも、すぐに」取得でき、市民サービスの向上が図られる。			

実施細目のH28取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			マイナンバー(個人番号)カード発行申請受付・交付	市にマイナンバーカード到着後速やかに予約通知を送付し交付する。 未交付者への再通知。										
(新規参入)コンビニ交付試験	ミニストップが平成29年2月末に全国で利用可能になるため3月中に確認試験等を実施し、4月から運用を実施。													
システム稼働(コンビニ交付開始)	計画通り4月1日より運用開始													
マイナンバーカード所有による行政サービスの周知	コンビニ交付サービスPR活動													
	・電光掲示板への掲示													
	・窓口用封筒に掲載													
	・懸垂幕(本庁)、横断幕の掲示(支所)													
	・ポケットティッシュ配布(支所、各課窓口、出張所、行政サービスコーナー)													
・ポスター掲示、広報紙(8/15号)・市HP掲載、チラシ配布														

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック

参照例規	(行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律)・神栖市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
------	--

プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/1462.htm (マイナンバーカード(個人番号カード)・通知カード・公的個人認証)
------------	---

数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		個人番号(マイナンバー)カード交付累計数(枚)	目標値	-	6,650	9,500	13,300
	実績値		0	3,078	8,303		
	達成度		%	46.3%	87.4%		
コンビニ交付件数(件)	目標値	-	0	1,737	2,084	2,258	
	実績値	0	0	1,485			
	達成度	%	-	85.5%			

成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
		目標値	-			
	実績値					
	達成度	%				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	9. マイナンバーカードの有効活用				担当課	市民課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	発行手数料				395	567
計			0	0	395	567	615
歳出	システム構築経費			21,276			
	システム管理料				6,091	6,092	6,092
	市町村運営負担金				3,000	2,700	2,700
	コンビニ利用委託料 (123円/件、H29~115円/件)				183	240	260
	計		0	21,276	9,274	9,032	9,052
歳入－歳出			0	▲ 21,276	▲ 8,879	▲ 8,465	▲ 8,437
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.2	0.1	0.1	0.1
	関連課等			0.1			
	計		0.0	0.3	0.1	0.1	0.1

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を確認し利用拡大に繋がるようPR方法を検討するよう表現を修正。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	課税課と連携しながら実施した。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	証明書交付件数、マイナンバーカード交付件数等のデータを更新
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	コンビニ交付件数が見込みより下回っているが、マイナンバーカード交付件数に比例し増加しているため数値指標の変更はせずに、PRに努める。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	新規参入のコンビニ交付の申請から試験まで日程を調整。4月1日交付確認済み。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	適正に見積もっている。
7. その他()		
プラン変更	<ul style="list-style-type: none"> PRについての内容を追加するなど、「プランの取組内容」、「期待する成果」の表現を修正した。 実施細目に「マイナンバーカード所有による行政サービスの周知」の内容を追加した。 	
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント マイナンバー通知カードからマイナンバーカードへの切り替えは任意であることから、市民の方々への利便性として、市で発行する諸証明書類の交付を全国のコンビニで行えるよう進め、平成28年4月から予定通り開始を始めた。PRについては、電光掲示板、懸垂幕、横断幕、ポスター、窓口用封筒、広報かみす及び神栖市ホームページへ掲載し、チラシ及びポケットティッシュの配布により、啓発を行ってきた。その結果、平成28年度末の交付割合は8.8パーセントであり、茨城県内では、44市町村中、上位15番目に位置している。また、全国の交付割合(8.6%)を上回ることができた。今後も市民の方々への利便性のPRに努めていく。

行財政改革推進委員会の所見
<p>○諸証明のコンビニ交付は市民サービスの向上となるため、さらに進められたい。</p> <p>○マイナンバーカードの活用は年代別に利用活用状況が様々だと考える。今後に期待をする。</p> <p>○マイナンバーカードの利便性が現時点で、具体的ではないので、普及が進んでいないようであるが、市のすべきことは迅速になされていると感じる。</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>平成29年8月末におけるマイナンバーカード交付の年代別の交付状況は、60代～70代が全体の38.4%を占めています。今後は、市民課および市民生活課でタブレット端末を使用したマイナンバーカードの申請補助(顔写真撮影含む)を開始し、高齢者でも容易に申請できるよう、市民サービスの向上を図りながら、マイナンバーカードの交付促進に努めていきます。</p>

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	10. 地域防災力の充実強化	担当課	防災安全課
推進項目	(2)サービスの向上	関連課等	なし
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	2-1-(1)消防・防火対策の推進	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	大規模災害に備え、市民の自助・共助・協働の重要性に対する認識を深めるとともに、災害や防災について十分な知識や技能を有する防災士の育成や、様々な災害時に対応できるように消防団員への訓練等を実施し、地域防災力の向上を図る。		
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の未結成である行政区への結成促進 ・防災士の育成 ・訓練及び研修会、講習会の実施(統一訓練、幹部研修、救命講習など) 		
実施方法	直営		
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が数多く結成されることにより、地域での助け合いや被害拡大を防ぐ。 ・社会の様々な場で、減災と社会の防災力向上のため、防災士の活動が期待される。 ・様々な訓練及び研修等を実施することにより、消防団員の意識の向上に繋がる。 		

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	自主防災組織の結成促進	別紙参照											
	防災士の育成	別紙参照											
	訓練及び研修等の実施	別紙参照											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載										チェック	レ		
参照例規	神栖市自主防災組織補助金交付要項, 神栖市防災士育成事業補助金交付要項												
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/9459.htm												
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	自主防災組織の結成件数(件)※累計	目標値	-	72	76	80	84						
		実績値	58	58	58								
		達成度	%	80.6%	76.3%	0.0%	0.0%						
	防災士資格取得補助の人数(人)	目標値	-	13	13	13	13						
		実績値	2	7	5								
		達成度	%	53.8%	38.5%								
	訓練及び講習等の実施(回)	目標値	-	4	4	4	4						
		実績値	2	4	3								
		達成度	%	100.0%	75.0%								
	成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30						
		市内の防災士資格保有者数(人)	目標値	-	85	118	151	182					
実績値			52	68	111								
達成度			%	80.0%	94.1%								

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	10. 地域防災力の充実強化					担当課	防災安全課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込	
			0	0	0	0	0	0
	歳出	自主防災組織活動 事業費補助金	338	259	122	1,040	1,040	
		防災士育成事業 補助金	81	95	91	293	293	
		研修負担金		109		156	156	
		計	419	463	213	1,489	1,489	
歳入－歳出		▲ 419	▲ 463	▲ 213	▲ 1,489	▲ 1,489		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.1	0.1	0.2	0.2	
関連課等								
計		0.0	0.1	0.1	0.2	0.2		

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	市民協働課所管の大野原コミュニティ協議会と避難所に保管してある資機材の取扱いと点検を実施した。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	自主防災組織の数値指標について、実績値を累計とした。防災士の数値指標の目標値を修正した。成果指標を市内の防災士資格保有者とした。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	
7. その他()		
プラン変更	数値指標について、自主防災組織の結成件数を累計表記とし、防災士の数値指標の目標値を修正した。成果指標に市内の防災士資格保有者数を追加した。	
自己評価	C: 計画にやや遅れが生じた。	所属長コメント 成28年度における自主防災組織の新規結成は無く、活動等の補助金の利用状況も前年度より低い状況であった。また、防災士の育成補助金については、市内の資格取得者は順調に増加しているが、補助制度の利用者が少ないことから、制度の周知方法について検討するほか、市内の防災士と各行政区との接点を作る体制作りにも努め、自主防災組織の新規結成を促したい。

行財政改革推進委員会の所見

○リーダー育成は重要な課題である。ボランティアが望ましいが、可能であれば、非常勤特別職などで雇用するのはどうか。面接をして選び、各地区を責任を持って統括していただくのはどうか。

○防災士の資格取得に係る補助金交付は、申請者が参加した各種講習会のレポート、自主防災組織の結成に向けて行政区にどのような働きかけをしていく考えなのかなどについて、市に提出することを条件としてはどうか。

○全ての行政区に対し防災士設置を行政区の推薦等で実現できるよう努力されたい。各行政区、消防団、防災士の関わりを考え、お互いが相乗効果で地区のために働ける、スピーディーな取組が必要と考える。

所見を踏まえた改善内容

○外部からの防災士の雇用は、地域の防災リーダーの育成を抑制し得るため、地域の防災リーダーとして防災士等を雇用する予定はありません。しかしながら、地域の防災リーダーの不足は喫緊の課題であるため、今後も課題解決に向けた取組を模索していきます。

○現状、補助金の交付にあたり、レポートの提出等を条件として課す予定はありません。防災士補助金の利用が少ない中、さらに補助対象者に対して条件を課すのは、防災士資格取得者の減少につながる考えられます。まずは防災士資格取得者の増加に向けた取り組みを最優先とし、その後に地域の防災リーダーとしての活動の充実に向けた取組を模索していきます。

○万が一の災害時に、行政区、消防団、防災士が協力し、復旧・復興に向けて活動できるよう、日頃より地域の防災訓練に参加するよう働きかける等、地域内での交流の機会を設けられるような取組を模索していきます。

実施細目	取組状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自主防災組織の結成促進	広報誌掲載や行政委員会議で説明	広報や説明会で周知											
		行政委員説明							行政委員説明				
防災士の育成	いばらき防災大学や千葉科学大学で実施している防災士養成講座を広報誌等で周知	周知											
							広報紙掲載						
		ホームページ掲載											
訓練及び研修等の実施	例年実施している訓練のほか、日本消防協会や県消防学校で実施している幹部研修への参加		消防団統一訓練										
			消防学校日曜講座	消防学校指導員養成			ホンプ操法訓練		市防災訓練				
		消防団統一訓練					ホンプ操法訓練		市防災訓練				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	11. 福祉総合相談支援体制の構築		担当課	社会福祉課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	健康福祉部各課	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目	4-1-(4)相談・指導の充実		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	福祉総合相談支援体制を構築することにより、各課にまたがる緊急を要する事案に対し、速やかな対応が可能となる。このことにより、市民サービスの向上、更なる安心な市民生活の確保を図る。			
プランの取組内容	福祉総合相談支援体制の構築のため、関係各課と協議し、実施要項等を整備する。また、少しでも迅速な対応を行えるようしくみや共有システム等についても調整していく。			
実施方法	直営(健康福祉部内で実施)			
期待する成果	福祉総合相談支援体制による総合支援調整会議の開催により、部内において情報の共有化が図れ、市民への包括的な支援が早急に実施されることで、市民の安心な暮らしの確保が期待できる。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	福祉総合相談支援の体制づくり	当該事業の実施要項をH28.6.1に施行。総合支援コーディネーターの推薦を各課から受け配置した。更に、H29.4.1の要項一部改正に向け準備を行った。 検討(体系・人選) → 実施要項制定 → コーディネーター人選 → 要項一部改正											
	福祉総合相談支援の実施	H28.6.10当該システムの運用について協議した後、6月以降ほぼ毎月、定例会として情報共有等を行った。調整会議で扱った件数は計7件。 試行(総合支援調整会議等) → 運用協議、定例会(毎月開催) → 総合支援調整会議											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載										チェック			
参照例規	神栖市福祉総合相談ケアシステム推進事業実施要項												
プラン関連記事URL													
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	-	0	9	12	12						
	総合支援調整会議の開催回数(回)	実績値	0	0	5								
	達成度	%	-	55.6%									
	内部検討会・定例会の開催回数(回)	目標値	-	5	3	12	12						
		実績値	0	3	10								
達成度		%	60.0%	333.3%									
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	-	-	-	5	5						
	事案受付から総合支援調整会議を開催するまでの年平均日数(日)	実績値	-	-	-								
	達成度	%	-	-									

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

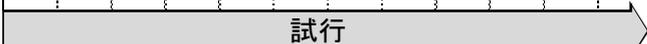
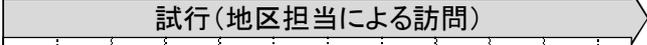
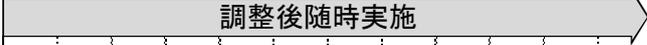
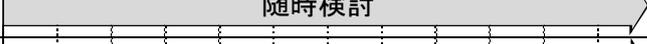
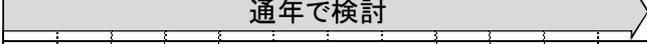
プラン名	11. 福祉総合相談支援体制の構築				担当課	社会福祉課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
			0	0	0	0	0
	歳出	計	0	0	0	0	0
		歳入-歳出	0	0	0	0	0
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.3	0.2	0.2	0.2
	関連課等			0.2	0.7	0.7	0.7
	計		0.0	0.5	0.9	0.9	0.9

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	変更なし
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	内部検討会を通じて行った。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	定例会等において協議し、実施要項の一部改正(会議の招集方法、様式等)を行った。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標の内部検討会に定例会を加え、新たに成果指標を設定した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	28年度は試行期間としていたが、6月に実施要項を施行し実施することができた。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	—
7. その他()		
プラン変更	・数値指標の変更: 内部検討会の開催回数(回)→内部検討会・定例会の開催回数(回) ・成果指標の設定: 事案受付から総合支援調整会議を開催するまでの年平均日数(日)	
自己評価	所属長コメント	福祉総合相談ケアシステム(福祉総合相談支援体制の構築)事業は、9ヶ月前倒して実施に至った。事案の対応方針を決定する総合支援調整会議の開催回数は5回(案件7件)で目標値に達することはなかったが、適切な支援が継続されている。また、定例会の開催により、総合支援調整会議の案件とならない事案の情報共有を行うことができ、早い段階での対応が可能となった。そして、事案内容のデータベース化を図り情報を共有化、更に要項を一部改正し総合支援調整会議の開催手続きの簡略化を行うなど、事案に早期対応できる体制とした。今後は、社会福祉協議会(コミュニティソーシャルネットワーク事業、生活困窮者自立支援制度)などとの連携を図ることを検討する。

行財政改革推進委員会の所見	
○福祉総合相談支援体制を上手く活用し、市民にとって助けとなる取組にされたい。 ○各課に関連した内容で総体的に情報が周知できるシステムの共有化を早期に実現できるよう努力されたい。 ○管理職(部長・課長)が現場で行われていることを俯瞰し、適切なアドバイスをタイムリーに行えるかにも、このプランの成否がかかっている。【継続】	
所見を踏まえた改善内容	
当該システムの構築前は、最初に案件に関わった課が、まず、その課で所管する制度での対応を検討していたことから、対応が限られたり、関係課と協議をするまでに時間を要したりしていた場合などもありましたが、構築後は、多面的に事例をとらえることができるようになり、結果的に早期に最適な対応を図れるようになったと考えています。今後、重要になってくるのは、ご指摘のように、各担当課長等が当該システムをいかに有効活用できるかであるため、この体制の役割や有効性に対する関係課の理解を深めるとともに、システムの活用促進を図っていきます。	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	12. 市民の健康の保持・増進や疾病予防の取組		担当課	健康増進課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	健康福祉部各課	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目	4-6-(1)年代・ライフステージに応じた健康づくりの支援		
総合戦略	基本目標			
プランの目的	保健活動を地区担当制で実施することにより、個人・世帯及び地域内の健康問題を把握でき、地域や世帯の実情に応じた必要な支援を行うことで、市民の健康の保持、更なる増進と疾病の予防を図る。 ※保健活動、健康教育、健康相談、家庭訪問等			
プランの取組内容	○訪問地域を市内8中学校区に分け、各地区2人で合計16人の保健師を配置する。 ○保健活動は、乳児から高齢者までを対象とした世帯全体を重視する地区担当制を実施していく。			
実施方法	直営			
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯重視の支援により、個人の健康課題を家族の問題として捉える事ができ、問題解決に繋がりがやすい。 ・長期間にわたり特定の保健師が一定地域に関わることで地域住民との良い関係性が築け、身近な支援者として継続的な健康作りを推進できる。 ・保健師が担当地区に責任を持った活動を実施し、地区把握や分析を行うことで地域課題の明確化を図り、市民の疾病予防につなげる。 			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		○家庭訪問の推進	・業務は保健師全員が同様な対応ができるよう調整し、家庭訪問については、担当地区の保健師が中心となり実施した。	<div style="text-align: center;">試行</div>  <div style="text-align: center;">試行(地区担当による訪問)</div> 									
○保健師連絡会の実施	・効果的な保健活動を行うため、関係各課と情報共有し連携を図る会議を年3回実施した。	<div style="text-align: center;">通年で調整</div>  <div style="text-align: center;">調整後随時実施</div> 											
○世帯台帳整備の検討	・課内でワーキングチームを作り随時検討中。	<div style="text-align: center;">通年で検討</div>  <div style="text-align: center;">随時検討</div> 											
○地区診断の検討	・世帯のデータが見れるシステムの検討と地区の実態把握を行うため、現存のデータから地区の健康課題調査を検討中。	<div style="text-align: center;">通年で検討</div>  <div style="text-align: center;">随時検討</div> 											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック レ

参照例規							
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/1440.htm (健康増進課)						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	保健師訪問活動件数(件)	目標値	-	1,640	2,100	2,250	2,400
		実績値	1,640	1,917	2,375		
		達成度	%	116.9%	113.1%		
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	-				
		実績値					
		達成度	%				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	12. 市民の健康の保持・増進や疾病予防の取組				担当課	健康増進課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
		計	0	0	0	0	0
	歳出	計	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
歳入－歳出		0	0	0	0	0	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		2.6	2.6	2.8	3.0	3.2
	関連課等		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	計		2.8	2.8	3.0	3.2	3.4

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	各種家庭訪問実績の集積・内容分類。家庭訪問の優先順位の設定。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	保健師配置のある地域包括支援課・こども課と保健師連絡会を年3回実施し、連携を図った。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	保健師活動の実態を把握するための基礎資料となる保健師活動訪問実績を更新した。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値目標を検討し、目標値どおりとする。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	再検討し、スケジュール通りとする。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	—
7. その他()		
プラン変更	・実施細目のうち「体制整備」としての取組を、○家庭訪問の推進、○保健師連絡会の実施、○世帯台帳整備の検討、○地区診断の検討に細分化した。	
自己評価	A: 計画を上回る取組結果だった。	所属長コメント 個々に対する支援から、更なる支援として世帯や地域に対する包括的な支援を目指して訪問活動も積極的に取組始めている。 今後も、関係各課と連携を図りながら、積極的に訪問活動を実施し、地区分析などから地域課題の明確化も進め、市民の健康保持と更なる増進及び疾病予防につながる取組を継続的に実施していく。

行財政改革推進委員会の所見
○どのような狙いで何をいつまでに実施するのか、その成果をどの時点で評価・見直しするのか、実施細目ごとにマイルストーンを設けたスケジュール構築が必要である。
○この取組に必要なとされる保健師のスキルアップ体制を明確化されたい。
○保健活動を地区担当制にすることで、健康の保持・増進や疾病予防に効果があったと判断できるよう取組を進められたい。【継続】
所見を踏まえた改善内容
○住民の生活実態を把握し、健康課題の解決に取り組むことで健康の維持や疾病の予防につながりますので各取組についても段階的に評価できるようスケジュール管理を進めていきます。
○保健師のスキルアップ体制につきましては、取組や自己研鑽以外にも、県等主催の技術等に関する研修、経験年数に応じた人材育成研修にも参加しています。今後も、地区の健康格差を縮小させ健康水準の向上に向け、活動を継続していきます。

市民の健康の保持増進や疾病予防（保健業務における地区担当制の推進）

1. 業務担当制から地区担当制に向けての取り組み

保健師の業務内容	これまで	平成28年度の取組	平成29年度の取組
①健診業務	・基本的には担当グループが従事。平成27年には他のグループから1～2名ずつ参加。	・試行的に母子・成人健診を「完全ローテーション」として実施。 ・但し、各健診における担当者は従来のグループごとに置き、責任を持ち全体調整・訪問者のリストアップ等を行う。	・母子の健診・成人健診・がん検診は完全ローテーションで実施。 ・通知や結果発送、取りまとめなどは事務職とペアで担当をつけながら事業に責任を持って実施していく。
②家庭訪問	・グループ毎だったが、乳児全戸訪問と特定保健指導については、各グループの保健師と他グループの保健師で訪問を実施。（未経験訪問についての研修も実施）	・訪問全般において、業務分野に関わりなく、家庭訪問の必要なケースについては、担当地区の保健師が担う。 ・訪問を実施する際は、その世帯構成を把握し、関係する情報等も提供できるよう心がける。 ・世帯台帳整備のワーキングチームを立ち上げる。現状の各システムの確認をする。	・地区担当を中心に訪問活動を実施。地区で人数の偏りが有る場合は、その都度近くの地区の担当が支援する。 ・世帯台帳整備はワーキングチームの中で情報の集約に向けて検討していく。世帯で他課と連携の必要性があれば情報共有していく。
③健康教育・健康相談	・母子関係、成人関係について各グループで従事。	・グループごとの各業務担当者が全体調整を行い、各地域で実施するものについては、基本的に地区担当者が業務担当の協力で実施。	・地区に依頼のあった健康教育については基本的に地区担当が担う。活動の件数に偏りが有る場合には件数の少ない近隣の地区担当が支援する。
④地区把握・分析	・担当業務における地区把握や分析が主である。	・地区分析のワーキングチームを立ち上げる。神栖市の実態で地区ごとに出るデータがあるのかを調べる。	・地区分析を行い、神栖市や各地区の特徴についてまとめる。住民向けに資料を作成する。

※地区担当…市内を8地区に分け、基本的に各グループから1名ずつの2名の保健師が1地区を担当する。

2. 家庭訪問における対象者の優先順位と内容

（成人対策）

- ①重症化予防者（糖尿病・脳血管・心臓・腎臓）
- ②特定保健指導対象者
- ③住民健診の至急訪問対象者
- ④がん検診の要精検者
- ⑤健診未受診者・特定保健指導外の要指導者

（母子対策）

- ①乳児全戸訪問（生後2か月前後）
- ②医療機関からの訪問依頼
- ③各乳幼児健診後のフォロー者
- ④他自治体からの訪問依頼

3. 円滑に進めるための課題と取り組み

- ・保健指導のスキルアップのための定期的な研修・事例検討会等の実施・・・保健師連絡会・職場内研修の実施
- ・訪問及び記録に関する世帯台帳の整備・関係各課との情報共有のシステム化・・・ワーキングチームで内容を検討
- ・継続事業に加え新規事業もあり、業務量が増加している・・・今後各業務の見直しなども検討

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	13. 公立教育・保育施設の認定こども園化の推進	担当課	こども課
推進項目	(2)サービス力の向上	関連課等	学務課, 教育総務課
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成31年度
総合計画	章一節一項目	3-1-(2)地域や保護者に開かれた幼稚園経営の推進 4-2-(1)保育サービスの充実 4-2-(2)児童健全育成環境の充実	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	地域の実情に応じた就学前の子どもに対する望ましい教育・保育の確保や子育て支援, 保育の充実。		
プランの取組内容	幼稚園・保育所両施設の再編による認定こども園化を推進し, 弾力的な施設運営を推進する。		
実施方法	直営(神栖市子どものための施設等再編基本計画に基づき, 計画的な教育・保育施設の整備と再編を推進する。)		
期待する成果	施設の統廃合や改築等の再編により, 人員配置の効率化による人件費と施設運営コストの削減, 子どもたちの安全性の確保, 保育所待機児童の解消等が期待される。		

	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	認定こども園① (仮称)認定こども園はさき	平成30年4月開園に向けて, 基本・実施設計業務が終了し, 工事着工済。 円滑な開園に向けて, 事業を前倒して実施。	基本・実施設計											
			基本・実施設計										発注	工事
	認定こども園② (仮称)認定こども園どあい	平成31年4月開園に向けて, 継続事業として基本・実施設計業務を委託済。 円滑な開園に向けて, 事業を前倒して実施。	基本・実施設計											
			基本・実施設計											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載			チェック	レ										
参照例規	神栖市子ども・子育て会議設置条例, 神栖市認定こども園化推進ワーキングチーム設置要項													
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/10791.htm													
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	認定こども園の新設(施設)	目標値	-	0	0	0	1							
		実績値	0	0	0									
		達成度	%	-	-									
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	-											
		実績値												
		達成度	%											

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	13. 公立教育・保育施設の認定こども園化の推進			担当課	こども課		
事業費 (単位:千円)	歳入	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込	
		計	0	0	0	0	0
	歳出	維持管理費削減想定額					▲ 1,909
		計	0	0	0	0	▲ 1,909
歳入－歳出		0	0	0	0	1,909	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			3.0	2.0	2.0	1.5
	関連課等			0.8	0.5	0.5	0.5
	計		0.0	3.8	2.5	2.5	2.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認し、変更なし。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	認定こども園化推進ワーキングチームを中心に教育委員会及び幼稚園、保育所職員間の情報共有を図り、円滑なプラン実現に向けて意見交換を行った。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	幼稚園及び保育所入園(所)状況について、教育委員会学務課及びこども課において更新済。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	子どものための施設等再編基本計画を基に設定し、子ども・子育て会議において進捗状況を報告済。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	民間施設を含めた幼稚園及び保育所入園(所)状況と施設整備状況を踏まえて検討済。円滑な開園に向けて、事業を前倒して実施。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	既存施設の運営コストを踏まえて事業費を算定。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	<p>所属長コメント</p> <p>子どものための施設等再編基本計画に基づき順調に進んでいる。認定こども園の円滑な開園に向けて、基本・実施設計などの事業を前倒して実施することで、子どもたちに安全で優しい施設整備を図ることができるようになった。</p> <p>また、本市においては待機児童が発生していることから、今後の民間保育園の施設整備状況を踏まえ、子育て関連施設の活性化を図るとともに、効率的な運営と子育て支援、保育サービスの充実に取り組んでいく。</p>

行財政改革推進委員会の所見

- 必要な地域に必要なだけのサービスが提供できるよう、公平に事業を進められたい。
- 認定こども園は就学前の教育・保育ニーズに対応する保護者の新たな選択肢であるが、待機児童を解消するため、市内にある公私の幼稚園・保育園等も活用し、地域の子育て家庭を支援するよう具体的な取組をされたい。
- 運営にあたっては、しっかりとしたマニュアル等を整備されたい。

所見を踏まえた改善内容

- 幼稚園及び保育所の在席児童や待機児童の状況を踏まえ、子ども・子育て会議での協議や子ども・子育て支援事業計画を見直すなどして、公平性の確保に努めます。
- また、待機児童解消と子育て支援サービスの充実に向け、公立保育所の認定こども園化や再編・統合、民間保育園の改築等による定員増を促進し、子育てコンシェルジュによる民間保育園での出張相談や講話などを実施しています。今後も民間事業者との情報共有と連携の強化を図り、地域の子育て家庭を支援していきます。
- 施設の運営にあたっては、認定こども園化推進ワーキングチームにおいて、事業運営方針をはじめ、年齢児ごとの指導計画やデイリープログラムなどを検討・協議するなど、円滑な運営に向けて準備を進めています。



○概要

- ・所在地 神栖市波崎8759番3 波崎小学校敷地内
- ・定員 80名
- ・構造 鉄骨造1階建
- ・延べ床面積 922.19㎡

- ・開園時期 平成30年4月(予定)
- ・工事費 286,200,000円(設計・監理費別途)

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	14. 学校の適正規模適正配置の推進	担当課	学務課
推進項目	(2)サービスの向上	関連課等	教育委員会各課
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	3-2-(5)一人ひとりの夢をはぐくむ創意と工夫あふれる教育環境の充実	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	幼稚園・小中学校の適正規模適正配置を図ることにより、児童生徒のより良い教育環境を整える。		
プランの取組内容	新たな「神栖市学校適正規模適正配置基本計画」を策定し、より良い教育条件や、教育環境を整備するため、計画に基づき学校の適正化と適正配置を推進する。		
実施方法	直営		
期待する成果	学校の適正化を図り、児童・生徒のためのより良い教育環境を整えることで、集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができる。		

実施細目	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	計画の見直し	「神栖市学校適正規模適正配置基本計画」(改訂版)の策定	(新)計画策定											
	学校の適正化		改訂											
		矢田部小学校と土合小学校の統合に向けて以下を実施。 ・地区説明会の開催(8回) ・統合準備委員会の開催(2回)	策定											
			実施											
			説明会											
			委員会											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載			チェック									レ		
参照例規														
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/7301.htm													
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30								
			目標値	-	100	100								
	実績値	0	50	100										
	達成度	%	50.0%	100.0%										
	神栖市学校適正規模適正配置基本計画策定(見直し)進捗率(%)	目標値	-	-	25	100								
		実績値	-	-	25									
達成度		%	-	100.0%										
矢田部小学校と土合小学校の統合準備の進捗率(%)	目標値	-	H27	H28	H29	H30								
	実績値													
	達成度	%												
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30								
		目標値	-											
	実績値													
	達成度	%												

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	14. 学校の適正規模適正配置の推進				担当課	学務課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
		計	0	0	0	0	0
	歳出	報酬・費用弁償	702	527	423	1,785	
		委託料				1,530	
		計	702	527	423	3,315	0
歳入－歳出		▲ 702	▲ 527	▲ 423	▲ 3,315	0	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.8	0.8	1.0	1.0	0.8
	関連課等				0.2	0.2	0.2
	計		0.8	0.8	1.2	1.2	1.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	計画の見直しにあたり、最新の情報を収集した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	教育委員会内部において協議・検討を重ねた。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	計画の見直しにあたり、最新の情報を収集した。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値目標には進捗率が適当である。 矢田部・土合小学校の統合準備の進捗率を追加した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	検討委員会からの提言を受けて基本計画の見直しを行った。 統合準備委員会を組織し、説明会を開催した。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	報酬・費用弁償等を計上している。
7. その他()		
プラン変更	数値指標に矢田部・土合小学校の統合準備の進捗率を追加した。	
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 平成27年度では、スケジュールの変更を余儀なくされたが、平成28年度では基本計画改訂版の策定後、矢田部小学校と土合小学校の統合に向け、準備委員会を組織して順調に推移していることから、自己評価は妥当と考える。

行財政改革推進委員会の所見	
<p>○矢田部小学校と土合小学校の統合に向け「準備委員会」も設置されたとのことであるが、生徒には遠方通学等で辛苦も発生すると予想される。心のケアも取組に考慮されたい。</p> <p>○通学手段の検討など、他自治体も参考にしながら、取り組まれない。</p> <p>○平成30年4月に「矢田部小学校と土合小学校の統合校」を開校するという計画であるが、いろいろな事情・思いから統合に対し反対する意見が出ると予想されるので、プラン担当課長は自らの役割の重大性を認識し、管理職者の技量に係る試金石であるとして指導、実務に臨まれない</p>	
所見を踏まえた改善内容	
<p>○神栖市立矢田部小学校・土合小学校統合準備委員会の協議により、通学路に関しては現場の状況等を確認し、学校、保護者、児童とともに通学路の決定をしていきます。両校の児童の心のケアは重要でありますから、交流事業も活発に実施しているところでもあります。統合により遠距離通学となる児童につきましては、今までどおり路線バス等の利用によりその経費負担等についても検討しています。</p> <p>○教育委員会において統合については平成23年に波崎小学校の設置を経験しており、また本事業は地域においても重要な案件でありますので、地元理解を得ながら進めていきたいと考えています。</p>	

神栖市立矢田部小学校・土合小学校統合準備委員会委員

任期：～平成30年3月31日

区 分		人数
小学校保護者の代表	矢田部小保護者	4人
	土合小保護者	3人
学校評議員の代表	矢田部小学校 学校評議員	2人
	土合小学校 学校評議員	2人
通学区域内の 行政区の代表	矢田部小(上中, 川尻)	2人
	土合小(清水, 土合西, 土合中央)	3人
校長・教頭及び 教職員の代表	矢田部小校長, 教頭, 教務主任	3人
	土合小校長, 教頭, 教諭	3人
	波崎二中校長	1人
教育委員会事務局職員	教育部長	1人

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	15. 学校図書館機能の充実		担当課	中央図書館
推進項目	(2) サービス力の向上	関連課等	教育総務課, 学務課, 教育指導課, 公民館	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成30年度
総合計画	章一節一項目		3-4-(6) 図書館機能の整備充実	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	市立図書館と学校図書館が連携して, 子供たちの読書環境の向上を図る。 ～どこに住んでいても図書館の本が手元に届くように～			
プランの取組内容	1)教育委員会内の支援窓口の一本化を図り, 学校図書館図書運用マニュアルを整備し, 図書資料購入及び蔵書管理を支援する。また, 学校訪問を実施し, きめ細かいサポートをする。(学校図書館支援センターの設立, 運営) 2)児童用の市立図書館の蔵書検索パソコンの導入及び図書資料の迅速な物流の支援をする。 3)学校図書館の「環境整備」を図る。			
実施方法	直営			
期待する成果	教育委員会が一体となって学校図書館を支援することにより, 子供の読書環境の向上を図る。市立図書館から遠い地区の子供達にも, 市立図書館の豊富な蔵書を利用することができる。			

実施細目	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			学校図書館支援センター	中央図書館内に4/1に設置。										
運営マニュアル(研修, 蔵書の整理整頓)	実務研修等を実施。また, 蔵書の整理整頓のため, 嘱託員司書配置の必要性を調査検討し予算措置した。													
図書購入管理	学務課より図書購入業務を移管し, 課題図書及び各学期に1回の納品ができるよう年4回(5,506冊)の図書購入を行った。													
訪問支援	各学校図書館を訪問し, 図書管理を支援。													
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載												チェック		
参照例規														
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/11017.htm (学校図書館支援事業)													
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	学校図書館への訪問回数(回)	目標値	-	10	115	115	115							
		実績値	0	10	152									
		達成度	%	100.0%	132.2%									
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	学校図書館の一人当たりの貸出冊数(冊) ※小学校15校, 中学校8校	目標値	-	-	17.8	20.7	23.7							
		実績値	-	14.8	16.8									
		達成度	%	-	94.2%									

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	15. 学校図書館機能の充実		担当課	中央図書館			
事業費 (単位:千円)	歳入	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込	
		計	0	0	0	0	0
	歳出	学校図書館リニューアル費					1,000
		児童用蔵書検索PCの導入			200		
		学校図書館支援センター嘱託員			2,117	4,234	4,234
	計	0	0	2,317	4,234	5,234	
歳入－歳出	0	0	▲ 2,317	▲ 4,234	▲ 5,234		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	関連課等	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	計	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	基礎情報内容を再確認した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	学務課, 教育指導課, 各学校と協議を行った。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	学校図書館の貸冊数を各学校に再確認し, 修正。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	学校図書館の貸し出し総数から, 一人当たりの貸し出し冊数に成果指標の見直しを行った。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	実施細目の見直しを行った。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	リニューアル費を再精査した。
7. その他()		
プラン変更	<ul style="list-style-type: none"> 全体の貸出冊数から, 児童, 生徒数の減少でも比較できるように成果指標を見直し, 学校図書館の一人当たりの貸出冊数とした。 実施細目について, 取組状況が分かるよう区分して表記をした。 学校図書館とのオンライン化については, 先進地及び近隣の取組内容を調査し, 継続検討していく。平成29年度は蔵書のリニューアルに重点を置く。 	
自己評価	B: 計画通りの取組結果だった。	所属長コメント 学校図書館の定期訪問を実施したことにより, 訪問回数は目標を上回り, 現場からの要望や問題点を聞くことができた。 今後も, 学校訪問は継続して実施し, 学校図書館の更なる充実のため, 環境整備をはかるなどの支援を行っていく。

行財政改革推進委員会の所見	
<p>○インターネット等を活用して, 要望等にも素早く対応できる環境整備にも取り組まれない。</p> <p>○読むことは学習の基盤である。小中学校の時からいろいろな名著に出会い, そこに書いてあることを読み, そして感じ取る力を養うことは大切なことである。ぜひ学校図書館機能の充実を実現し, 子どもたちの読書量のアップに寄与するよう取り組まれない。【継続】</p> <p>○平成29年3月に改訂された学習指導要領に沿った授業, 学校図書館蔵書の内容の見直しが今後進められるので, この動きに応じた対応をされたい。</p> <p>○成果指標として新たに掲げられた「学校図書館の一人当たりの貸出冊数(冊)」の推移を注視し, 減少の兆候があった場合には, 学校図書館側の担当者(学校司書, 司書教諭等)と協議し, 速やかな対応を検討されたい。</p>	
所見を踏まえた改善内容	
<p>○学校図書館コンピュータシステムの利活用につきましては, システム整備を行っている学務課と協力して進めていきます。</p> <p>○学校図書館には, 読書センター機能, および学習・情報センター機能が求められています。学校司書等は, 「学校図書館」や「本」と子どもたちとの橋渡し役として, 大変重要な役割を担うことから, 司書教諭や学校司書の資質や能力を高めるため, 平成29年度も学校図書館支援センター主催の研修, 講習等を行っています。</p> <p>○新学習指導要領に沿った授業に活用できるよう, 学校図書館蔵書の内容も, 「知識及び技能の習得と思考力, 判断力, 表現力などの育成のバランスを重視する」現状に加え, 「知識の理解の質を更に高め, 確かな学力を育成する」ための蔵書整備を支援します。</p> <p>○「学校図書館の一人当たりの貸出冊数(冊)」の統計データについては, 教育指導課や学務課等と共有し, 速やかに整備するよう対応していきます。</p>	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	16. 市税等収納率の向上		担当課	納税課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	課税課	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目		8-2-(1)財源の確保	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	税負担の公平性や自主税財源の確保のため、「市税等納付率向上マスタープラン」に基づく様々な滞納対策を講じることで、着実な収納率向上を目指す。			
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○個人市民税(普通徴収・特別徴収)については、今年度末の県平均値達成を目標とし、今後も更なる収納率の向上を目指す。 ○新規未納者発生を防ぐため口座振替の推進を図る。 ○コールセンターによる催告を強化するため、平成29年度以降3年間の長期継続契約を締結した。 			
実施方法	直営・一部委託(コールセンター)			
期待する成果	○収納率の向上により、税負担の公平性の担保及び、自主財源の確保が期待できる。			

	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	現行の対策・マスタープランの見直し	マスタープランに基づく対策を強力に実施し、収納率向上に繋げた。	対策実施											
			対策実施											
	軽自動車税口座推進	販売店に口座振替推進ポスター及びチラシを配布した。	作成・配布											
			作成・配布											
	特別徴収等収納対策	課税課と連携し、未納者に対し早期催告を促した。	随時電話催告実施											
			随時電話催告実施											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載			チェック										レ	
参照例規	(地方税法・国税徴収法・憲法)													
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/1439.htm (納税課)													
数値指標	数値指標(単位)	個人市民税収納率(%)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
			目標値	-	89.98	91.10	91.15	91.2						
	実績値	89.82	92.25	94.30										
	達成度	%	102.5%	103.5%										
成果指標	成果指標(単位)	個人市(県)民税県内順位(位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
			目標値	-	41	40	39	38						
	実績値	41	39	29										
	達成度	%	100.0%	100.0%										

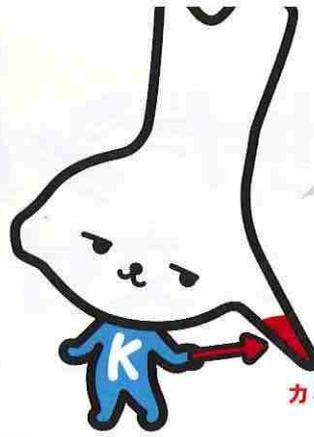
神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	16. 市税等収納率の向上			担当課	納税課		
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	個人市民税	5,057,265	5,131,512	5,290,567	5,020,064	5,020,064
		計	5,057,265	5,131,512	5,290,567	5,020,064	5,020,064
	歳出	市税等徴収事業	80,200	80,869	82,014	91,650	91,650
		計	80,200	80,869	82,014	91,650	91,650
歳入一歳出		4,977,065	5,050,643	5,208,553	4,928,414	4,928,414	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		22.0	22.0	22.0	22.0	22.0
	関連課等		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	計		23.0	23.0	23.0	23.0	23.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	課内会議を定期的実施し取組内容を見直した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	課税課と連携して取り組んだ。(特別徴収対策, 軽自動車ポスター・チラシの作成及び配布)
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	滞納状況進行管理表を随時確認し現状に即して対処した。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標は収納実績により記載した。県内順位を成果指標とした。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	最終目標は収納率100%であり, 早期達成のため日々検討を重ねて取り組んでいる。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	予算積算時に確認した。
7. その他()		
プラン変更	<ul style="list-style-type: none"> 軽自動車対策(軽自動車税口座推進)の追加 成果指標: 個人市(県) 民税県内順位(位)の追加 	
自己評価	A: 計画を上回る取組結果だった。	所属長コメント 職員による税の公平性確保のための取組など, 業務努力の成果が収納率・県内順位として現れてきている。今後も取組手法を協議検討し, 更なる収納率向上に努める。

行財政改革推進委員会の所見
<p>○プラン達成の見える化を進めるべく, 成果指標として「個人市(県) 民税県内順位(位)」を設定されたことを評価する。</p> <p>○税の公平性を前面に掲げ, 更に努力されたい。成果指標の目標値を上回る取組を期待する。</p> <p>○市税等収納率向上対策取組状況や市税概要の開示について, 検討されたい。</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>○財源の確保・税負担の公平性のため収納率100%が最終目標であることを念頭に滞納整理に取り組んでいますが, 今後も課内全体で毎月の収納率・県内順位を共有しながら, 状況に即した対策を進め, 目標達成に向け努力を続けます。</p> <p>○取組状況等の開示については, 広報紙に県内順位及び滞納処分の件数等を掲載していきます。また, 口座振替推進にも注力し, ポスターの作成並びに関係各所への掲示により, 市民の納税意識の高揚を図っていきます。</p>

市税等の納付は 口座振替 をご利用ください



こんな方に
おススメです♪

- ★ つい、うっかり、忘れちゃう
- ★ 現金を持って行くのが不安…
- ★ 忙しくて、時間がない…

カミスコくんも口座振替をお勧めし!

簡単!!

一度手続きすれば
自動継続されるので
簡単です

確実!!

うっかり忘れなど
納め忘れがなく
確実です

便利!!

納期毎に
納付に出向く必要が
なく便利です

神 栖 市 は 口 座 振 替 を 推 進 し て い ま す

●ご利用できる市税等

- 市・県民税(普通徴収) ■固定資産税 ■軽自動車税
 - 国民健康保険税 ■介護保険料 ■後期高齢者医療保険料
- ※年金や給与から天引きされる市・県民税の口座振替はできません

●お申込方法 金融機関で手続きしてください

- 口座振替依頼書へ必要事項を記入し提出してください
通帳と通帳のお届け印をご持参ください
- ※ 納入義務者ごとに口座振替依頼書が必要です
- ※ 申込の翌月末以降から口座振替となります
- ★口座振替依頼書は各金融機関の窓口を用意しています
【注意】振替開始日を確認のうえお手続きしてください

●取扱金融機関 下記の金融機関でお申込できます

- 常陽銀行 ■水戸信用金庫 ■中央労働金庫
- 筑波銀行 ■銚子信用金庫 ■しおさい農業協同組合
- 千葉銀行 ■茨城県信用組合 ■ゆうちょ銀行
- 茨城県信田漁業協同組合連合会

●固定資産税の口座振替について

- 固定資産の名義が変わった場合は、再度手続きが必要です
(納税義務者の変更・共有者の変更・持分変更があった場合)
- 相続人代表者の口座振替は、受付けていません
正式な相続手続き終了後にお申込みください

●振替の変更・停止について

- 口座の変更をしたい場合
新たに登録したい口座の振替依頼書を提出してください
以前の口座振替は停止となります
- 口座振替の停止をしたい場合
口座振替停止届を提出してください
神栖市役所 納税課 窓口でも手続きできます

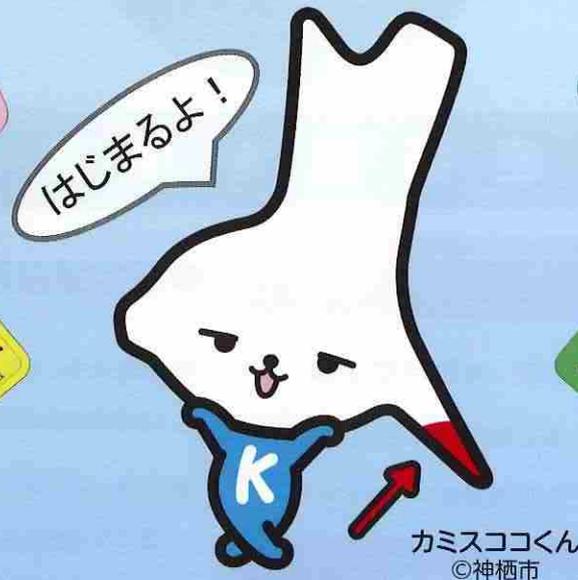
問 合 せ 先

神栖市役所 〒314-0192 神栖市溝口4991番地E

納税課 管理 ☎ 0299-90-1125

ご当地ナンバープレート の交付が始まります!

平成28年
11月1日
交付開始



神栖市のイメージキャラクター「カミスココくん」をデザインした「ご当地ナンバープレート」の交付を平成28年11月1日（火曜日）から開始します。

・交付場所／神栖市役所：課税課 波崎総合支所：市民生活課

※新規登録手続き時に「ご当地ナンバープレート」と「従来のナンバープレート」の選択ができます。

対象車種

- 総排気量50cc以下の原動機付自転車 ●総排気量50cc超90cc以下の原動機付自転車
- 総排気量90cc超125cc以下の原動機付自転車 ●ミニカー（3輪以上のもののうち一定のもので総排気量20cc超50cc以下の原動機付自転車） ●小型特殊自動車

納税は 簡単・確実・便利な **口座振替** をお勧めします。

【 問合せ先 】 神栖市役所
ナンバープレートについて：課税課 市民税G
電話：0299-90-1134
口座振替について：納税課 管理G
電話：0299-90-1122

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	17. 補助金等の整理合理化		担当課	財政課
推進項目	(3)財政力の向上		関連課等	補助金等の所管課・団体
事業開始年度	-		事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目		8-2-(2)財政運営の適正化	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	補助金等交付団体の自立促進と併せ、補助金の経常化防止を図るため、指導・監督を通し整理統合化に取り組む。また、補助金等審議会において要項等に基づく補助金等の審議を継続し、適正な交付に努める。			
プランの取組内容	○補助金等審議会からの指摘事項への対応。 ○「要項等補助の整理合理化に関する方針」に基づく整理合理化の推進。 ○予算関係のヒアリング・説明会等において、所管課に対し、事業内容・効果等の精査、交付団体の指導育成に努めるよう周知を行う。			
実施方法	直営			
期待する成果	○補助金等の公益性、公平性、必要性、効果、経済性を総合的に勘案し、適正、的確に交付できる。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	審議会における審議	<ul style="list-style-type: none"> ・団体補助 8団体 ・要項補助 14事業 ※H28年度は委員改選あり。第1回審議会で研修会・前年評価結果に対する所管課対応報告・審議案件の検討をし、10月から3回の審議を実施した。 											
	評価・答申	<ul style="list-style-type: none"> ・団体補助: 464万5千円の要望額に対し、450万7千円、△13万8千円、△2.9%の答申を行い、平成29年度予算に反映した。 ・要項補助: 現状維持10事業、縮小または改善が必要4事業の評価を行い、所管課へ取組状況の報告を依頼した。 											
	評価結果に対する所管課の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の評価結果に対する取組状況を平成28年6月1日までに報告。第1回審議会の議題とした。 											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック

参照例規	神栖市補助金等交付規則の他、各種補助金交付要項あり						
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/8702.htm						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	審議会における審議件数(件)	目標値	-	28	28	28	22
		実績値	28	29	22		
		達成度	%	103.6%	78.6%		
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	-				
		実績値					
		達成度	%				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	17. 補助金等の整理合理化				担当課	財政課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	計	0	0	0	0	0
		審議会委員報酬・費用弁償	212	241	276	297	367
	歳出	研修会講師謝礼			30		30
		計	212	241	306	297	397
歳入－歳出		▲ 212	▲ 241	▲ 306	▲ 297	▲ 397	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	関連課等		2.7	2.5	2.4	2.4	2.4
	計		3.0	2.8	2.7	2.7	2.7

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	団体補助所管課・団体代表, 要項補助所管課からの事前資料の提出, 審議会の出席など, 連携して取り組んだ。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	所管課からの提出資料, 審議結果を基に更新を行った。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については, 再検討の結果, 妥当と考える。なお, H30年度の目標値をH28年度実績値と同数に修正した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	審議の実績, 評価・答申については詳細化して表記した。なお, 当プランは, 審議⇒答申・評価⇒所管課の対応のサイクルで継続する。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	確実に見積もっている。なお, 審議会委員報酬・費用弁償についてH29見込は当初予算額, H30見込は2年任期である審議会委員の改選に対応した積算額に修正した。
7. その他()		
プラン変更	数値指標の平成30年度目標値を平成28年度の実績と同数に修正した。(28件⇒22件) これは, 2年任期である補助金等審議会委員の平成30年度改選時において, 平成28年度と同様, 第一回審議会において研修会の実施を予定していることによるもの。平成28年度は初の試みである研修会の実施により審議件数は目標値より減となったが, より良い審議を進めていただくためには有意義なものとして捉えており, 同様の流れを継続する。	
自己評価	B: 計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 当プランは審議⇒答申・評価⇒所管課の対応のサイクルを継続し, 補助金等が適正, 的確に交付されるよう取り組むものであり, ほぼ計画どおりに実施できた。なお, 平成28年度では補助金等審議会委員の改選があり, 初の試みとして第一回審議会において, 外部講師による補助金等審議会の役割についての研修を実施した。審議件数は前年より減とはなったが, 2年間の任期中, より良い審議を進めていただくためには有意義なものとして捉えている。 当初の設置目的や交付方法を踏襲し, 継続してきた補助金等は, 時代の変化, 市民のニーズと必ずしも合致しない可能性もあるということを念頭に, 今後も継続して, 所管課及び交付団体等への当市の現状を踏まえた事業実施内容への指導や検証を行い, より適正な交付となるよう努めていく。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	17. 補助金等の整理合理化	担当課	財政課
行財政改革推進委員会の所見			
<p>○時代や市の情勢を考慮し、議会、補助金等審議会などの意見を踏まえながら、真に必要な事業に、適正な補助金が交付されるよう取り組まれない。</p> <p>○補助金の申請団体に対し「自立化計画書」を提出させるなど、その実現性を評価するとともに自立化に向けた取組の進捗を評価するような仕組みを導入してはどうか。</p> <p>○公益性、公平性、必要性、効果、経済性等をシビアに検証、実行されたい。【継続】</p>			
所見を踏まえた改善内容			
<p>○補助金の交付にあたっては、時代や市の情勢に合致しない可能性もあるということを念頭に、今後も継続して所管課及び交付団体等に対して事業実施内容への指導や検証を行い、より適正な補助金の交付となるよう努めていきます。</p> <p>○補助金の申請団体の自立化については、審議会における審議及び評価・答申の他、団体の所管課においても、団体予算の検証と見直し等を行っています。補助金の交付対象は公益性を認めた団体ではありますが、これらの取組を通じ、自立に向け指導育成を行っていきます。</p> <p>○補助金等の財源は、広く市民から納められた税金が原資であり、最大限有効に活用する必要があると認識しています。今後も、公益性、公平性、必要性、効果、経済性等を検証し、より適正、的確な交付になるよう努めていきます。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	18. 使用料・手数料等の適正化	担当課	財政課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	使用料・手数料等の所管課
事業開始年度	-	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	8-2-(1)財源の確保	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	見直しの基本的な考え方を示し、現状把握と、行政と受益者の負担割合について所管課へのヒアリングを定期的に行うとともに、市民生活への影響を勘案しながら料金等の見直しを進める。		
プランの取組内容	○「使用料・手数料の設定における基本方針」に基づく料金設定と定期的な見直し。 ○所管課へのヒアリングによる現状把握と適切な助言。		
実施方法	直営		
期待する成果	○料金設定方法が明確になる。 ○行政と受益者の負担割合が明確になる。 ○定期的な料金見直しが行われる。		

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
実施細目のH28取組状況	現況調査(原価計算)	・34課 ・使用料 418件 ・手数料 107件		現況調査												
	所管課へのヒアリング・評価	・6課 ・使用料 15件 ・手数料 8件						ヒアリング・評価 (調査表確認含)								
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載											チェック					
参照例規	神栖市手数料条例の他、各種条例あり															
プラン関連記事URL																
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30									
	現況調査(原価計算)件数(件)	目標値	-	493	519	525	525									
		実績値	493	519	525											
		達成度	%	105.3%	101.2%											
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30									
		目標値	-													
		実績値														
		達成度	%													

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	18. 使用料・手数料等の適正化				担当課	財政課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
			0	0	0	0	0
	歳出	計	0	0	0	0	0
		歳入-歳出	0	0	0	0	0
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	関連課等		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
	計		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	所管課からの資料提出, ヒアリングなど, 連携して取り組んだ。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	所管課からの提出資料, ヒアリング結果を基に更新を行った。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については, 再検討の結果, 妥当と考える。なお, H29・H30年度の目標値はH28年度実績値と同数に修正した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	所管課へのヒアリング・評価については詳細化して表記した。 なお, 当プランは, 現況調査⇒ヒアリング・評価 のサイクルで継続する。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	-
7. その他()		
プラン変更	数値指標の平成29・30年度目標値を平成28年度の実績と同数に修正した。(519件⇒525件) これは, 現況調査(原価計算)は全件調査としており, 直近の実績を翌年度調査時の件数確認の基本とするためである。そのため, H29年度実績が出た際, 平成30年度目標はこれに合わせ修正する。	
自己評価	B: 計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 当プランは現況調査(原価計算), ヒアリング・評価のサイクルを継続し, 適正な料金設定・定期的な見直しに取り組むものであり, ほぼ計画どおりに実施できた。スケジュールについては予算編成までの期間をより長く確保するため, 所管課へのヒアリング・評価(事前の調査票確認含)を前倒しをして実施した。 使用料・手数料は, 市民生活の全般に渡り深く関わっているものが多く, 今後も市民の理解と協力が得られるよう定期的な見直しを行っていくなかで, 効率的な施設の管理運営や事務の効率化等, コスト削減の努力を続けながら, 適正化を図るよう所管課に対する指導を行っていく。

行財政改革推進委員会の所見	
<p>○受益者負担が適正となるよう, 定期的に見直しをするなどして, 公平な運営に努められたい。</p> <p>○公平性, 市民サービスの向上が見直しの要因ならば, 公平性, 市民サービス寄与を点数化(プラン17では補助金評価に評価指標の点数化を導入している)して説得力のある見直しになるよう努力が必要である。【継続】</p>	
所見を踏まえた改善内容	
<p>使用料・手数料の料金設定は, 毎年, 現況調査(原価計算)をすることにより, 比較・評価の見直しを実施しています。</p> <p>その際, 評価指標については, 使用料では, 市が提供するサービスは, 道路, 公園等の市民の日常生活に必要で市場原理によっては提供されにくいサービスから, プールやテニスコートの運営等のように特定の市民が利益を享受し, 民間においても類似のサービスが存在するものまで, 多岐にわたっています。このため, 一律の受益者負担の原則だけでは料金を設定することは困難です。そこで, サービスを性質別に4つに分類し, その分類ごとに「公費(税金)負担」と「受益者負担」の割合を設定しています。この分類別に応じた適正対価と現料金の乖離率及び原価を評価指標としています。</p> <p>手数料では, 証明書発行などが主であるため, 現料金と原価の乖離率を評価指標としています。また, 使用料・手数料ともに近隣の状況も調査項目としており, これらを総合的に判断しています。</p> <p>今後も現況調査(原価計算), ヒアリング・評価のサイクルを継続し, 適正な料金設定・定期的な見直しに取り組んでいきます。</p>	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	19. 税外収入体制の整備	担当課	財政課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	国保年金課,長寿介護課,こども課,下水道課,学務課 外
事業開始年度	—	事業終了(予定)年度	終了予定なし
総合計画	章一節一項目	8-2-(1) 財源の確保	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	税外債権を所管する各課において、自主的かつ継続的に滞納整理を行えるよう助言やサポートを行いながら、効率的に滞納整理が行える体制を検討する。		
プランの取組内容	年間計画, マニュアル等を作成し, 継続して滞納整理が行える環境を整備する。また, 困難な事例については助言, 共同作業することで対応能力の向上を目指し自己解決できるようにする。		
実施方法	直営		
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的かつ継続した滞納整理ができる環境の整備, 困難な事例等を自己解決できること。 ・滞納管理が間違いなく効率的に進められるシステムや環境整備。 ・継続的に滞納整理が行える体制の確立。 		

実施細目 のH28 取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			滞納整理	兼任体制を活用し, 預貯金調査, 差押, 執行停止のほか, 保育料, 給食費等の児童手当からの申出徴収など各債権所管課と協力し滞納整理を進めた。										
税外収入体制の検討・整備	徴収の一元化について検討し, 素案をまとめました。現在の兼任体制を検証しつつ徴収の一元化を継続検討していく。													
滞納整理に必要なシステム等の整備	予定していた保育料, 墓地管理料, 給食費について, 導入が遅延となったため導入に係る準備作業を進めた。													
マニュアルの作成	強制徴収が可能な債権用の原案を作成しました。各債権所管課と最終調整後, 各課の利用に供します。													
年間計画の作成	各債権所管課と年間計画を作成し滞納整理に取組ました。進捗確認と修正は随時行った。													
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載			チェック											
参照例規	(地方自治法, 地方自治法施行令, 地方税法, 児童手当法, 介護保険法, 都市計画法他)													
プラン関連記事URL														

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	19. 税外収入体制の整備				担当課	財政課		
数値指標	数値指標(単位)		基準年 (H26)	H27	H28	H29	H30	
	滞納整理に必要なシステム等の整備(%)	目標値	-	5	30	20	20	
		実績値	0	5	5			
		達成度	%	100.0%	16.7%			
	マニュアルの作成(%)	目標値	-	0	40	80	100	
		実績値	0	0	40			
		達成度	%	-	100.0%			
	滞納整理指導件数(件)	目標値	-	-	150	150	150	
		実績値	-	145	188			
		達成度	%	-	125.3%	0.0%	0.0%	
	成果指標	成果指標(単位)		基準年 (H26)	H27	H28	H29	H30
		児童手当からの申出徴収額(円)	目標値	-	-	-	8,200,000	7,000,000
実績値			415,020	6,269,194	8,879,032			
達成度			%	-	-			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	19. 税外収入体制の整備				担当課	財政課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
			0	0	0	0	0
	歳出	計	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
歳入－歳出		0	0	0	0	0	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		1.8	1.7	1.7	1.8	1.8
	関連課等		0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	計		2.7	2.6	2.6	2.7	2.7

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	各債権所管課と連携し滞納整理に努めている。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	確認の結果, 変更なし。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	・成果指標に児童手当からの申出徴収額を設定した。 ・数値指標のシステム等の整備について目標値を見直した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	システム等の整備について, 導入の遅れと事業変更に伴う修正が必要のため見直した。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	－
7. その他()		
プラン変更	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標に児童手当からの申出徴収額を設定した。保護者からの申出により, 滞納となっている保育所保育料や給食費を児童手当から徴収することができる制度で, 平成27年2月から開始し成果を上げている。 ・数値指標のシステム等の整備について, 目標値を見直した。システムの調整が遅れたことや事業の見直しによるもの。 	
自己評価	C: 計画にやや遅れが生じた。	<p>所属長コメント</p> <p>本プランの目的は各債権所管課が自主的に滞納整理を進められるように指導, 協力すること, また, そのための環境を整えることにある。それらが結果として, 徴収率の向上と継続した滞納整理につながるものとする。</p> <p>評価は, 目的の一つであるシステムの導入に遅れが生じたことを考慮してのもの。システム導入も含め, プランの進捗管理, 実施に努めていく。</p>

行財政改革推進委員会の所見
<p>○「児童手当からの申出徴収額」を成果指標として新たに設定されたことを, プラン取組への意欲の現れと評価する。</p> <p>○システム導入やマニュアル整備に遅れが生じているようなので, プランの進捗管理に力を入れ取り組まれたたい。</p> <p>○取組の進捗を管理するためのマイルストーンをどの時点に置いているのか, またPDCAサイクルの各ステップをいつ行うのか, 年間活動計画書などに記載して示すことができるよう検討されたい。</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>遅れが生じているシステム導入について, 進捗管理に力を入れ取り組んでいきます。なお, マニュアル整備につきましては, 今後も計画通り進めていきます。</p> <p>また, システム導入の際は, PDCAサイクルを, それぞれ, P(計画・準備), D(導入・運用), C(導入後の検証), A(更新・修正)とし, 年間活動計画書に記載できるよう業者と調整し, 計画的な導入等に努めていきます。</p>

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	20. 国民健康保険の安定運営(保健事業実施)		担当課	国保年金課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	健康増進課, 長寿介護課	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成30年度
総合計画	章一節一項目		2-4-(6)国民健康保険財政の健全性の確保及び国民年金制度の周知	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	国民健康保険特別会計の安定的な財政運営			
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果に則した保健事業等の実施及び医療費適用適正化により保険給付費の削減を行う。 ・保健事業として、レセプトデータや健診のデータを分析し、疾病構造や医療費の現状を把握したうえで、生活習慣病の重症化予防等の計画を行う「データヘルス計画」の策定・実施 ・先発医薬品と治療学的に同等で、薬価が安くなっている後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進事業等の実施。 			
実施方法	直営・委託			
期待する成果	一人当たりの保険給付費の抑制 平成30年度から国民健康保険の保険者は、茨城県と市町村で行う事となっています。その国民健康保険を運営する財源として、市町村が県に納付する国民健康保険事業費納付金の納付算定の評価である神栖市の医療費の水準を下げることに伴い、プランの成果が反映される			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施細目のH28取組状況	受診行動適正化指導事業	医療費高額化の要因となっている重複・頻回受診、重複服薬の対象者に対して適切な受診行動に導くため通知書の送付を実施。(実績:27通)		医療費分析		通知		効果測定						
		医療費分析		通知		効果測定								
	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の使用促進を図るため、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えた際の軽減額等を記載した通知書の送付を実施。(実績:3,312通)		レセプトデータ化		1回目		レセプトデータ化		2回目		効果測定		
		レセプトデータ化		1回目		レセプトデータ化		2回目		効果測定				
医療費の適用適正化	医療費通知の定期的送付により自身の医療費の再認識を促すとともに、レセプト点検により保険診療ルールに則しているかなどを確認し適正化を実施。													

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック レ

参照例規 神栖市国民健康保険条例, 神栖市国民健康保険規則, 人間ドック等健康検診費用助成実施要項, 神栖市国民健康保険の診療報酬明細書点検事務嘱託員取扱要項

プラン関連記事URL <http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/10522.htm>(神栖市データヘルス計画)

数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)					
		H27	H28	H29	H30		
一人当たりの保険給付費(円)	目標値	-	211,000	250,000	250,000	250,000	
	実績値(見込)	-	228,989	233,140			
	実績値	211,438	227,316				
	達成度	%	92.9%	107.2%			
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)					
		H27	H28	H29	H30		
		目標値	-	62	65	70	80
		実績値	52.8	62.3	66.8		
達成度	%	100.5%	102.8%				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	20. 国民健康保険の安定運営(保健事業実施)				担当課	国保年金課	
事業費 (単位:千円)	歳入	国庫支出金・県支出金(特別健康検査等負担金)	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
		国庫支出金(特別調整交付金)	25,618	23,555	24,563	24,554	未定
		計	4,674	8,281	9,257	13,263	
	歳出	保険事業費	30,292	31,836	33,820	37,817	0
		特定健康診査等事業費	14,534	22,000	21,397	28,063	
計		54,934	53,542	47,769	62,560	0	
歳入－歳出		69,468	75,542	69,166	90,623	0	
		▲ 39,176	▲ 43,706	▲ 35,346	▲ 52,806	0	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.5	0.5	0.5	0.5
	関連課等			0.2	0.2	0.2	0.2
	計		0.0	0.7	0.7	0.7	0.7

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	費用対効果に則した保健事業の実施による医療費の適用適正化をデータヘルス計画を基本にPDCA(P:計画, D:実施, C:評価, A:改善)サイクルにて実施。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	関連課と連携しデータの整理・分析などの取組を実施。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	データヘルス計画及び国保データベースシステムによるデータ分析を併合し、健康課題の逐次検討・効果測定の徹底より費用対効果の検証を行っている。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については、目標値と実績値に開きが生じてきているため、目標値の見直しを実施した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	再検討し、きめ細やかなスケジュール管理と実情に即した指標検討にてプランの成果を求めていく。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	各年度事業費の見積もりはしているが、H30年度より国保制度が広域化されることから現時点では、H30年度の見積もりが困難な状況である。
7. その他()		
プラン変更	<p>・当初の数値指標(一人あたりの保険給付費)は、基準年となる平成26年度実績を基に、給付費の減額を目標に設定していたが、団塊の世代を含む国保加入者の高齢化や医療の高度化等により国民健康保険の給付水準が年々上昇している。さらに、年金機能強化法により平成28年10月1日から実施された短時間労働者の社会保険の適用拡大により、若年層の社会保険加入による影響などもあり、国保加入者の高齢化が加速している状況である。このことからプランへの取組による成果は出ているものの、給付水準の上昇は避けられないことから、期待する成果を「減額」から「抑制」へと変更し、あわせて目標値の見直しを実施した。</p> <p>・実施細目の表記を内容がより具体的となるよう、「保健事業(データヘルス)」から「受診行動適正化指導事業」に、「保健事業(ジェネリック推奨)」から「ジェネリック医薬品差額通知事業」に変更した。</p>	
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	<p>所属長コメント</p> <p>国民健康保険制度を取り巻く環境は近年極めて流動的であり、その財政運営については、加速する高齢化、生活習慣病の増加などによる医療費の増大により年々厳しいものとなっている。国民健康保険財政の安定化については、医療費の適正化をいかに手当てするかが重要となってくるので、本プランにおけるデータヘルス計画の実施及び評価・改善により、その成果が少しずつ現れてきている状況から自己評価をB評価とする。国民健康保険の安定運営においては、平成30年度から財政運営を始めとして都道府県が担うことを基本としつつ、保険給付の決定、保健事業の実施等に関しては、市町村が積極的な役割が果たされるよう共同で行う広域化推進が進められている。本市も今後いかに医療費水準を下げていくかを保険者努力により実施していかなければならないと考える。</p>

行財政改革推進委員会の所見
<p>○より徹底したレセプトチェック等を実施し、医療費の適正化に努められたい。</p> <p>○増加する医療費の抑制により大きく寄与する可能性のある施策導入を検討すべきと考えるがどうか(プラン12の活動で得られたデータの活用や協働などで)。</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>○引き続き、医療費通知を送付するとともに、徹底したレセプト点検を実施し、医療費の適正化に努めていきます。</p> <p>○今年度は、第二期データヘルス計画の策定年度となっていますので、第一期計画の検証・評価を実施するなかで、健康増進課と連携を図りながら、既存事業の取組強化はもとより、医療費抑制の効果を考慮した新たな事業についても検討していきます。</p>

○多受診者通知の実績及び効果

発送日：平成28年10月12日

通知対象	通知実施人数(人)	効果測定実施人数(人) (通知後の国保脱退者除く)	改善人数(人)	1月あたりの効果額 (円)	改善割合
重複受診者	4	1	1	6,137	100%
頻回受診者	3	3	1	18,875	33.3%
重複服薬者	22	21	19	27,921	90.5%
合計(実人数)	27	24	20	52,933	83.3%

<対象者の特定>

- ・重複受診者・・・1ヶ月間で同系の疾病で3医療機関以上受診している者。
- ・頻回受診者・・・1ヶ月間で同一医療機関に12回以上受診している者。
- ・重複服薬者・・・1ヶ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、日数合計が60日を超える者。

※上記に該当する者の中から、がん・難病等を除外したものを対象者とした。

<効果及び効果額の算出>

- ・重複受診者・・・重複している医療機関数及び起因となった疾病の医療費の平均値を通知前の調査期間と通知後の効果期間で比較。
- ・頻回受診者・・・同一医療機関の受診日数及び医療費の平均値を通知前の調査期間と通知後の効果期間で比較。
- ・重複服薬者・・・重複している医薬品の投与日数及び医療費の平均値を通知前の調査期間と通知後の効果期間で比較。

○ジェネリック通知の実績及び効果

通知発送日	対象診療年月	発送数(枚)	ジェネリック切替人数(人)	削減効果額(円)
平成28年9月8日	平成28年 5月分	2,055		
平成28年12月26日	平成28年 9月分	1,257	562	912,000
	平成28年10月分		594	926,000
	平成28年11月分		613	965,000
	平成28年12月分		606	1,109,000
	平成29年 1月分		940	1,488,000

※最終効果測定

<対象者の特定>

- ・ジェネリックに切り替え可能な先発医薬品を処方されている者のうち、がん・精神疾患・短期処方等を除外した者。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	21.普通財産の有効活用	担当課	契約管財課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	8-2-(1)財源の確保	
総合戦略	基本目標		
プランの目的	普通財産の有効活用と払下げの促進により管理経費の削減を図り、財源の確保に寄与する。		
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産を適正に管理しながら売却処分を進める ・関係例規の整備 ・組織的な管理体制の充実 ・能動的な貸付など払下げ以外の活用方法の検討 		
実施方法	委託及び直営		
期待する成果	自主財源の確保。 管理事務の効率化等により経常経費の節減と抑制。		

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施細目のH28取組状況	関係例規の整備	市有地処分に関する要綱の制定に向けた他事例の調査及び情報収集	調査及び情報収集									要綱案作成		
		同上	調査及び情報収集									要綱案作成		
	管理体制の整備・管理業務委託の実施	売却予定地の境界確定及び測量調査業務の実施	境界確定・測量調査(12筆)											
			境界確定・測量調査(14筆)											
売却処分の実施	売却予定地の入札執行及び手続き	売却予定の入札及び手続き												
		入札									入札			
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載										チェック				
参照例規	神栖市財産の交換, 譲与, 無償貸付に関する条例 神栖市行政財産の使用料徴収条例 神栖市財務規則													
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/7664.htm (市有地の売却)													
数値指標	数値指標(単位)	目標値	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
			実績値	13	14	11								
	払下げ契約件数(件)※土地	達成度	%	116.7%	91.7%									
成果指標	成果指標(単位)	目標値	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
			実績値	36720	13,615	23,715								
	財産売払収入(千円)	達成度	%	45.4%	79.1%									

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	21.普通財産の有効活用			担当課	契約管財課		
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
	歳入	財産売却収入	36,720	13,615	23,715	30,000	30,000
		計	36,720	13,615	23,715	30,000	30,000
	歳出	市有財産有効活用事業	16,131	16,801	14,355	21,699	22,000
		計	16,131	16,801	14,355	21,699	22,000
歳入－歳出		20,589	▲ 3,186	9,360	8,301	8,000	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	関連課等						
	計		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	要綱の制定に向けた調査等を着手したので、プランの取組内容の「関係例規の見直し」を「関係例規の整備」に変更。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	売却予定地の入札を執行する前に関係各課へ取得希望調査をしている。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	計画的に事業を遂行するため、複数年度に分けての年度計画及びデータ化を策定中。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	再検討した結果、現行どおり。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	検討中。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	見積もっている。
7. その他()		
プラン変更	<ul style="list-style-type: none"> ・関係例規を見直した結果、他市において処分に関する要綱を制定していることに着目し、調査及び情報収集を重ね要綱の作成に着手した。 ・実施細目に「売却処分の実施」を追加。 	
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 前年度と比べ売却収入が目標値に近い実績を残すことができた。今後も要綱の制定とともにスケジュールの進捗状況を確認しつつ、売却物件を絞込みながら目標値に近づけるよう事業に取り組む。

行財政改革推進委員会の所見	
○市有普通財産の売却処分が進み、現在、残っているものの処分は難しくなっていると推測する。他の有効活用の方法も検討されたい。 ○財産売却収入のみならず、管理費(労務費・管理経費)の削減額を加算して、資産売却による経済効果を評価した方が良いと考えるがどうか。	
所見を踏まえた改善内容	
○現在、普通財産を売却処分していく中で、不整形な土地や袋地等の利用価値が少ない土地が多数残っている状況であるため、継続して売却処分を進めるとともに、その他の活用方法についても検討していきます。 ○市有地を適正に管理する上で、維持管理費用は必然的に発生するものでありますので、効率的・効果的な維持管理に努めていきます。	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	22. 公共施設等総合管理計画の策定		担当課	政策企画課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	所管課	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成28年度
総合計画	章一節一項目		8-2-(2)財政運営の適正化	
総合戦略	基本目標		4安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる	
プランの目的	公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現し、総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画を策定する。			
プランの取組内容	公共施設等の現況及び将来の見通し、総合的かつ計画的な管理に関する基本的方針、施設類型ごとの管理に関する基本的方針等を内容とする公共施設等総合管理計画を策定する。			
実施方法	委託			
期待する成果	計画により、財政の平準化を図り、施設の長寿命化、計画的な管理が可能になる。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)															
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
実施細目のH28取組状況	公共施設等の現況の分析・課題のまとめた白書の作成	策定															
	公共施設等総合管理計画の作成																
	各所管課個別計画の策定																
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載												チェック					
参照例規																	
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/item/41579.html																
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30											
		目標値	-	50	100												
	計画策定進捗率(%)	実績値	0	50	100												
		達成度	%	100.0%	100.0%												
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30											
		目標値	-														
	実績値																
		達成度	%														

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	22. 公共施設等総合管理計画の策定				担当課	政策企画課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
			0	0	0	0	0
	歳出	計		4,762	11,864		
			0	4,762	11,864	0	0
歳入－歳出		0	▲ 4,762	▲ 11,864	0	0	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.7	0.6	0.6	0.6
	関連課等			2.1	2.1	2.1	2.1
	計		0.0	2.8	2.7	2.7	2.7

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を再確認した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	施設所管課ヒアリング等を開催するなどにより、必要な範囲で連携した。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	施設所管課作成の調査シートを基に、施設の現状を示した施設カルテを作成した。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	人口構造の変化を加味した財政シミュレーションを行い、将来更新等費用の縮減目標を検討した。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	当初見込んでいた工程より施設の現状把握・分析に時間を要した。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	他市の委託状況の情報を収集し、適正な金額で委託した。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	B:計画通りの取組結果だった。	所属長コメント 計画どおりに公共施設等総合管理計画を策定したところではあるが、当該計画の目的達成は、今後の取組によるものであることから、関係各課の連携によるPDCAサイクルをしっかりと動かしていきたい。

行財政改革推進委員会の所見
<p>○作成したカルテや白書を踏まえながら、定期的に施設機能をチェックし、老朽化により更新が必要となった施設について、維持管理費と比較して、早期に新築か、廃止などを見極められるよう、計画的に進められたい。</p> <p>○計画の進捗を検証するため、専門的知識を有する外部委員を含む組織等の設置を検討されたい。</p> <p>○従来の施設ごとの短期・長期管理から総合管理計画に基づく管理方法へ変更をすることで、どのような変化が現れてくるのか注視していきたい。【継続】</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>今後は、施設所管課において本計画の方針に沿った個別計画の策定を推進するとともに、既に策定済みの個別計画に基づいた施設の維持管理や大規模改修などを実施していきます。</p> <p>また、全庁的な調整や本計画の進行管理を担う庁内検討組織を設置し、個別計画の進捗状況を集約するとともに、外部有識者へご意見を伺いながら、情報の共有・検証を実施していきます。</p> <p>実情にあった将来のまちづくりを進めるため、本計画に基づき施設所管課で策定された個別計画を実行することにより、経済性だけでなく住民ニーズに合致した公共施設の総量抑制及び最適配置などを総合的かつ計画的に推進していきます。</p>

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	23. 市道改修計画の策定		担当課	道路整備課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	下水道課, 水道課, 農林課	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成30年度
総合計画	章一節一項目		6-5-(3)道路環境の向上	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	アスファルト舗装の劣化による剥離や陥没箇所と、側溝の老朽化や破損での蓋の脱落箇所などによる交通事故を未然に防止するため、現地調査をして道路修繕工事を計画的に行うために、側溝改修を含めた広域での計画を策定する。			
プランの取組内容	全路線の計画を立てることは難しい為、区域や路線を限定した計画を立てる。 その他の道路については、これまでどおり行政区要望等を考慮し整備を進めていく。			
実施方法	委託			
期待する成果	幹線道路・市街化区域等については、地域を絞り込んだ計画を立てることにより、今後部分補修費が嵩む事が減り、市道改修費用の平準化も図れる。 道路利用者の満足度が向上する。			

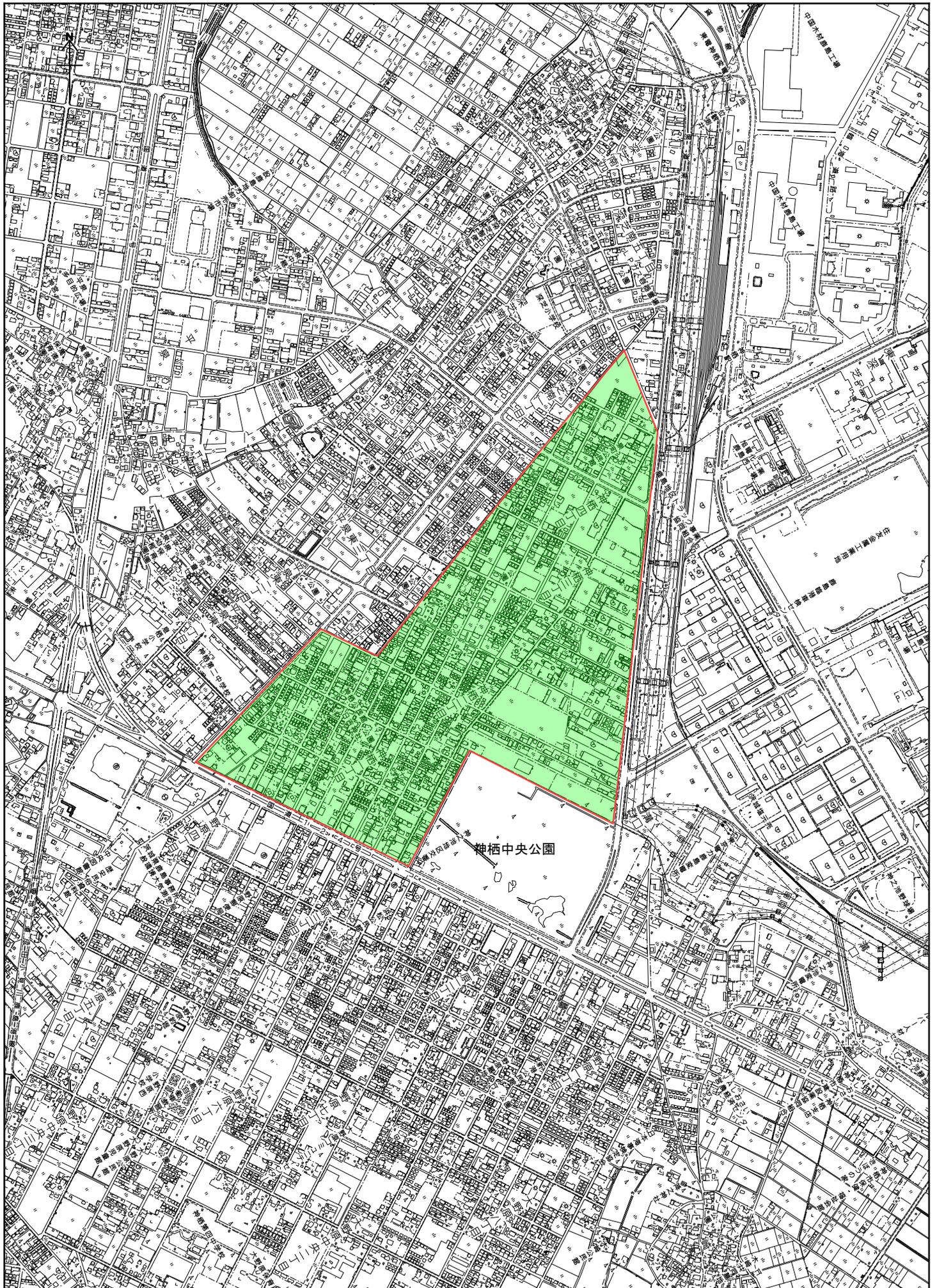
	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	計画策定エリアの検討	市道の改修計画を策定するエリアの検討												
	現況調査	対象エリア(土合地区)空洞化調査												
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載			チェック									レ		
参照例規														
プラン関連記事URL														
数値指標	数値指標(単位)	計画策定の進捗率(%)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
			目標値	-	0	10	50	100						
	実績値	0	0	10										
	達成度	%	-	100.0%										
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
			目標値	-										
	実績値													
	達成度	%												

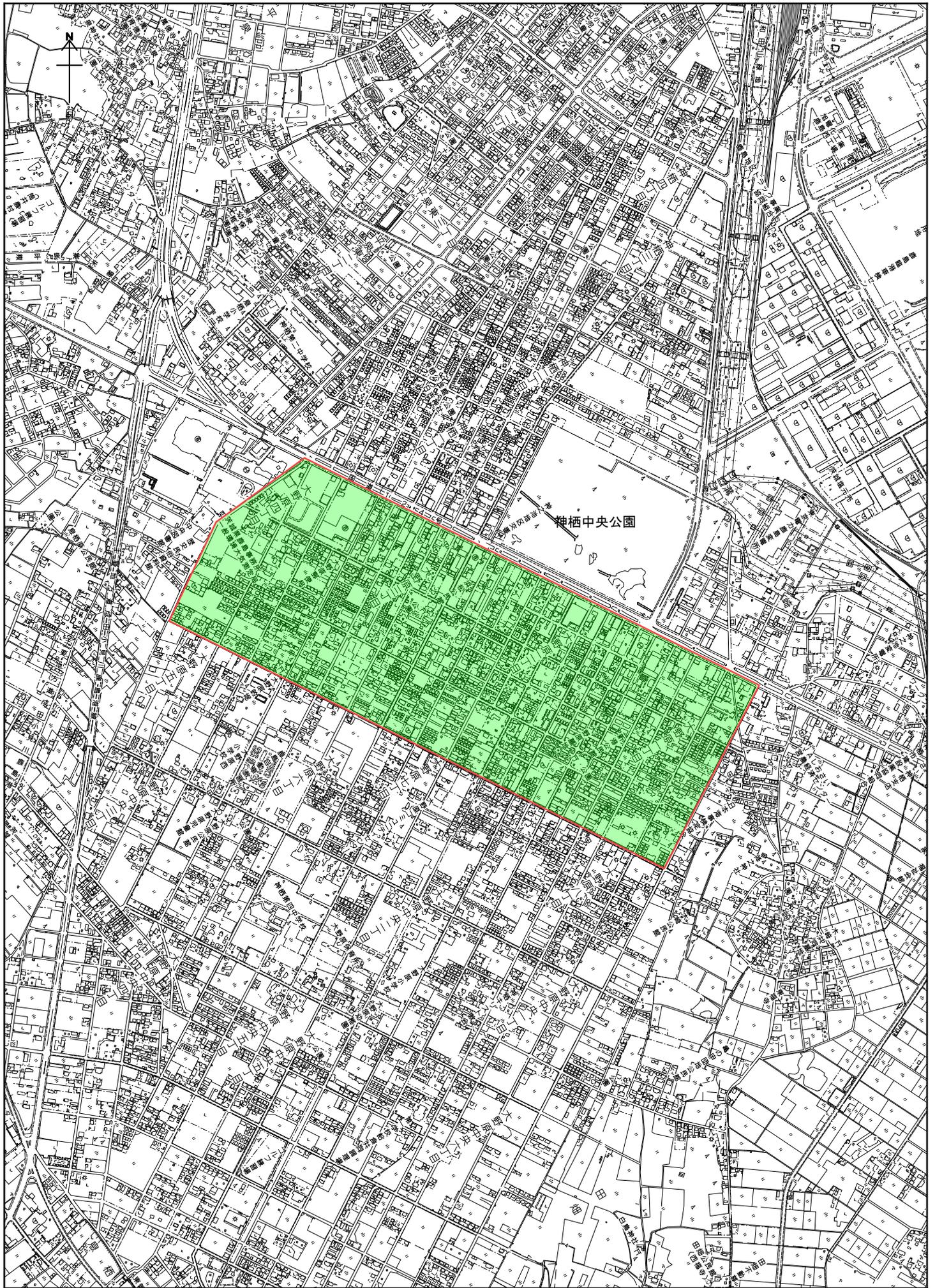
神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

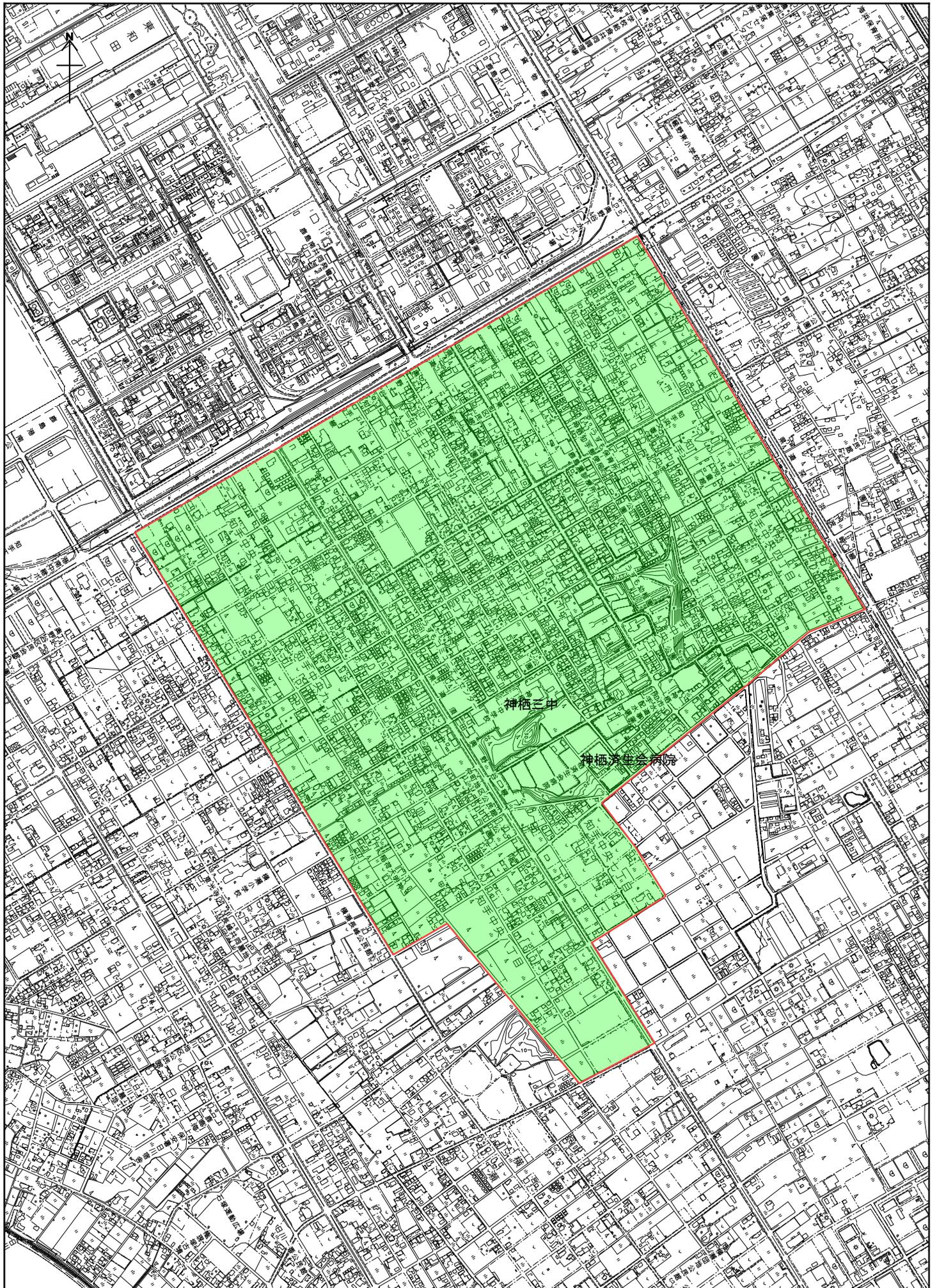
プラン名	23. 市道改修計画の策定					担当課	道路整備課	
事業費 (単位:千円)	歳入	計	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込	
			0	0	0	0	0	
	歳出	調査・計画			7,500	8,000	20,000	
		計	0	0	7,500	8,000	20,000	
歳入－歳出		0	0	▲ 7,500	▲ 8,000	▲ 20,000		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課				0.1	0.4	0.5	
	関連課等				0.1	0.1	0.4	
	計		0.0	0.0	0.2	0.5	0.9	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果、変更なし。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	関係各課と協議を行った。引き続き協議を行っていきます。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	平成28年度に、調査対象エリアを含めた路面空洞化調査を行った。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標について再確認。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	スケジュールを確認し、計画より前倒しで行った。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	専門業者より概算金額で適正に算出し検討を加えている。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	B: 計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 計画エリアの選定、調査については、舗装や側溝の老朽化が見られるエリアを選定、抽出し、路面空洞化調査等をふまえながら、計画どおり進めることができた。今後も引き続き、調査等を計画通り行う。

行財政改革推進委員会の所見
<p>○現況調査等にあたっては、漏れ、誤りがないう、計画的に十分、精査して実施し、道路利用者の満足度につながるよう優先順位を決めた上で、改修を進められたい。</p> <p>○計画策定は30年度に実施とのことであるが、「対象エリア、路線等ごとに改修計画を策定する」のであれば、現況調査を実施し計画策定したものから、順に運用し、取組のタイムスケジュールを前倒しすべきと考えるがどうか。【継続】</p> <p>○期待する成果が「部分補修費がかさむことが減り、市道改修費用の平準化も図られる」ということであれば、「部分補修費」、「平準化」を定量化した数値目標を成果指標として掲げるべきである。【継続】</p>
所見を踏まえた改善内容
<p>○現況調査の結果を基に、十分に優先順位を考慮し改修を進めていきます。</p> <p>○計画策定における設定区域内全体を調査把握した後、結果を相対的に比較して、工事の優先順位を判別していくことを前提としておりますが、交通量や道路の利用状況を考慮して、重要と思われる路線については、優先的に改修工事を行っていくと考えます。また、現状が危険な状態で緊急に対応すべき箇所については、本計画とは切り離して、早急な修繕工事を行っていきたく考えています。</p> <p>○部分補修費については、今回の計画を策定することによって重複工事を回避することができるようになることによる節減で、部分補修工事の内容や規模によっても様々ですので、定量化して具体的な目標数値を算出することは困難です。今後の改修工事費の平準化については、年度あたり約2,000万円の工事(例:道路幅8mとすると延長約400m)を対象に、効果を反映させていきたく考えています。</p>









750 m
1:15,000

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	24.公園施設長寿命化計画の策定		担当課	施設管理課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等		
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成28年度
総合計画	章一節一項目		5-4-(2)公園・緑地の整備と利用促進	
総合戦略	基本目標			
プランの目的	老朽化している公園施設を、効率的・計画的に維持管理を行うために長寿命化計画を策定し、誰もが安全・安心に利用できる環境を整え、質的向上とライフサイクルコストの縮減を図る。			
プランの取組内容	公園施設の予備調査・健全度調査を行い、対象公園全体の施設健全度等を把握し、効率的な維持管理・更新を行っていくための計画を策定する。			
実施方法	委託			
期待する成果	計画に基づく予防保全的な修繕及び耐久性の向上を図る改善を実施することで、公園施設の長寿命化が図れ、公園利用者の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減が期待できる。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH28取組状況	公園施設の健全度調査	健全度調査											
	予防保全型管理を行う施設(劣化や損傷を未然に防止しながら長持ちさせる施設)69施設について、各部材や消耗材ごとに目視、触診等により劣化や損傷の状態を確認し、健全度調査票を作成した。												
長寿命化計画の策定	公園施設の長寿命化のための基本方針、長寿命化に向けた具体的対策内容及び時期等の年次計画について検討を行い、長寿命化計画書を作成した。	計画策定											
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載										チェック	レ		
参照例規													
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/item/1497.htm (公園施設長寿命化計画)												
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	-	30	100								
	計画策定に係る進捗率(%)	実績値	0	30	100								
		達成度	%	100.0%	100.0%								
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	-										
	実績値												
		達成度	%										

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成28年度取組)

プラン名	24.公園施設長寿命化計画の策定			担当課	施設管理課		
事業費 (単位:千円)	歳入	社会資本整備総合交付金 (防災安全交付金)	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
		計	0	3,773	6,781	0	0
	歳出	予備調査		7,547			
		健全度調査・計画策定経費			13,564		
		進行管理経費				500	500
	計	0	7,547	13,564	500	500	
歳入-歳出	0	▲ 3,774	▲ 6,783	▲ 500	▲ 500		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.2	0.3	0.1	0.1	
	関連課等						
	計	0.0	0.2	0.3	0.1	0.1	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を再確認した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	—
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	予備調査及び健全度調査の結果を基に、施設の設置年度や損傷状況等の現状を示した公園施設一覧表を作成した。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については再検討の結果、妥当と考える。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	再検討し、スケジュールどおりとする。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	事業費について再精査し、計上した。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 計画策定業務は予定どおり平成28年度末に完了した。今後は策定した計画に基づく維持管理を行うことにより、施設の健全度を高め、公園利用者の安全性の確保を図るとともに、施設の修繕・更新費用の縮減及び財政負担の平準化を図る。 また、長寿命化計画が将来にわたって機能するよう、計画内容は事業の進捗状況等に合わせて毎年見直しを行う。

行財政改革推進委員会の所見
○公園は市民の憩いの場であるため、安全が最優先である。計画書が策定されたとのことであるが、修繕箇所のチェックは定期的に行い、長寿命化につなげられたい。 ○公園施設の長寿命化に関して、従前の管理方法と今回のプランによる管理方法でどのような違いが現れてくるのかを明確にし、取組を分かりやすくされたい。【継続】
所見を踏まえた改善内容
策定した計画に基づき、定期的な補修による機能維持や計画的な補修と更新により、長期的な使用に努めることで、施設の修繕・更新費用の縮減や財政負担の平準化を図ります。 なお、日々の日常点検は継続して行い、事故の未然防止に努め、公園利用者の安全・安心を確保します。

神栖市公園施設長寿命化計画

【概要版】

平成29年5月

神栖市都市整備部施設管理課

1. 目的

市内の都市公園の多くが昭和40年代から昭和50年代に整備されたもので、開園後30年以上経過したものが約6割を占めています。公園施設の多くは公園開設当初から設置され、老朽化が進んでおり、今後は施設の修繕・更新に多大な費用が必要になると見込まれます。

「公園施設長寿命化計画」は、こうした公園施設の計画的な維持管理を行うことにより、施設の健全度を高め、公園利用者の安全性の確保を図るとともに、より長期的な使用に努めることで、施設の修繕・更新費用の縮減や財政負担の平準化を図る事を目的とします。

2. 都市公園の整備状況

平成29年3月末時点での都市公園の整備状況は以下のとおりです。

都市公園の数	94公園
都市公園の面積	242.73 (ha)
市民一人当たりの都市公園面積	25.56 (㎡) /人

※県営公園（港公園）を含みます。

3. 計画期間

計画期間は、平成29年度から38年度までの10年間です。なお、計画内容は事業の進捗状況等に合わせて毎年修正を行い5年後に計画全体の見直しを行っていきます。

4. 計画対象公園

◇種別箇所数

街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	緩衝緑地	都市緑地	合計
71	8	1	1	3	3	87

※市が管理する都市公園のうち施設の長寿命化対策が必要となる87公園を計画対象としています。

5. 計画対象施設

計画対象となった87公園のすべての公園施設を計画対象とし、対象施設は以下の種類の5,747施設です。※植栽を含み、地下埋設物は除きます。

◇対象公園施設数

施設分類	施設数	主な公園施設
園路広場	754	橋梁、舗装、園路、階段など
修景施設	171	植栽、花壇、築山、池、モニュメントなど
休養施設	675	あずまや、パーゴラ、ベンチなど
遊戯施設	299	複合遊具、ブランコ、滑り台、鉄棒など
運動施設	22	防球ネット、バスケットゴール、スポーツウォール（壁打ち）など
教養施設	36	記念碑など
便益施設	244	時計塔、便所、水飲み場、展望台など
管理施設	3,546	照明灯、柵、車止めなど
合計	5,747	

対象となる公園施設について、現地における点検調査や既存資料で得られた情報等を基に、予防保全型管理あるいは事後保全型管理に分類し、計画的な維持管理を行います。予防保全型管理の施設は371施設、事後保全型管理の施設は5,376施設です。

◇予防保全型と事後保全型とは

予防保全型管理	劣化や損傷を未然に防止しながら長持ちさせることを目的に計画的な手入れを行うよう管理する方法
事後保全型管理	施設の日常的な維持管理や点検を行い、施設の機能が果たせなくなった段階で取り換えるよう管理する方法

6. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

予防保全型管理施設について、専門家による劣化診断を実施し、A から D 判定の4段階の評価を行いました。

◇評価基準

ランク	評価基準
A	全体的に健全である。 緊急の補修・更新の必要はないため、日常点検で管理するもの。
B	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 緊急の補修・更新の必要はないが、日常点検で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	全体的に劣化が進行している。 利用し続けるためには補修が必要なもの。
D	全体的に劣化が進行している。 公園施設使用の禁止措置あるいは、緊急な補修や更新が必要とされるもの。

劣化診断による4段階の判定結果は、最も良好な状態であるA判定が21基(5.7%)、B判定が293基(79.0%)、C判定が57基(15.4%)、D判定が0基(0.0%)でした。

なお、この判定結果に応じて、公園施設の健全度や補修・更新等が必要な施設を把握し、計画に反映します。

◇判定結果

	評価A	評価B	評価C	評価D	なし	合計
休養施設（あずまや、パーゴラ）	5	17	4	0	0	26
遊戯施設（遊具）	11	243	45	0	0	299
便益施設（便所）	0	17	3	0	0	20
管理施設（倉庫等）	0	2	1	0	0	3
その他の施設	5	14	4	0	0	23
合計	21	293	57	0	0	371

7. 長寿命化計画の策定

(1) 基本方針

- 現在使用中のものは、修繕、補修等の長寿命化対策を行い、施設の延命化を図ります。今後も定期的な補修を行うことで、公園施設の長期間にわたる機能の発揮を目指します。
- 予防保全型管理を行う施設のうち遊具や設備については、毎年定期点検を実施し、施設の劣化状況について把握し補修・更新について検討を行います。
- 予防保全型管理を行う施設のうち遊具以外の施設については、今後も定期的に健全度調査を実施し状況の把握と補修について検討を行います。
- 事後保全型管理を行う施設は、日常点検と維持保全（清掃・保守・修繕）で公園施設の機能の保全と安全性を確保します。また、日常点検で施設の劣化や破損を把握した場合、施設の軽微な補修もしくは更新を行います。

(2) ライフサイクルコストの縮減額

長寿命化計画を実施することにより、10年間で35,710千円のライフサイクルコストの縮減が見込まれます。

◇ライフサイクルコストとは

ライフサイクルコスト (LCC)	施設を設置してから更新までにかかる「維持保全費（点検や修繕等）」「補修費（塗装等）」「更新費」等の必要な経費の総額
---------------------	---

◇ライフサイクルコスト縮減効果の算定式

$LCC \text{ 縮減効果 (単年度)} = \text{事後保全} LCC / \text{年} - \text{予防保全} LCC / \text{年}$ <ul style="list-style-type: none">• 事後保全LCC：<u>長寿命化対策をしなかった場合の費用の総額</u> / 使用見込み期間 ↳ (維持保全費 + 更新費)• 予防保全LCC：<u>長寿命化対策をした場合の費用の総額</u> / 使用見込み期間 ↳ (維持保全費 + <u>健全度調査費 + 補修費 + 更新費</u>) ↳ 長寿命化対策費

◇ライフサイクルコスト縮減効果一覧その1

公園番号	公園名	施設分類	施設名称	事後保全LCC	予防保全LCC	単年度当りLCC縮減額
0003	あけぼの児童公園	休養施設	パーゴラ	102.894	92.616	10.277
0009	ひまわり児童公園	休養施設	パーゴラ	193.086	168.127	24.958
0012	あすなる児童公園	休養施設	パーゴラ	193.086	168.827	24.259
0016	かえで児童公園	休養施設	パーゴラ	193.086	169.176	23.909
0018	つくし児童公園	休養施設	パーゴラ	144.814	129.444	15.370
0019	うずも児童公園	休養施設	パーゴラ	137.192	121.988	15.204
0023	ふかしば児童公園	休養施設	パーゴラ	177.727	156.540	21.186
0025	柳堀児童公園	休養施設	パーゴラ	144.814	129.794	15.020
0035	うずも坂児童公園	便益施設	展望台	286.097	247.764	38.333
0044	いずみ野街区公園	修景施設	モニュメント	115.000	101.339	13.660
0044	いずみ野街区公園	休養施設	パーゴラ	137.192	123.230	13.961
0045	平泉外十二入会街区公園	休養施設	パーゴラ	266.590	247.462	19.128
0046	大沼公園	休養施設	あすまや	296.212	261.818	34.393
0055	若松中央児童公園	管理施設	休憩舎、倉庫	374.431	327.444	46.986
0058	押揚児童公園	修景施設	モニュメント	95.833	85.645	10.187
0070	波崎灯台跡公園	園路広場	園路C（木道）	293.250	281.819	11.430
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	便所	409.640	384.653	24.986
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	ソーラー時計	325.833	278.527	47.305
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	みはらし台	260.666	245.055	15.611
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	展望塔	776.160	698.253	77.906
0071	なさか夕日の郷公園	便益施設	展望デッキ	381.463	333.191	48.272
0072	息橋運動広場	休養施設	パーゴラ	177.727	156.969	20.757
0074	五郎台中央公園	休養施設	パーゴラA	193.086	175.699	17.386
0074	五郎台中央公園	休養施設	パーゴラB	193.086	175.699	17.386
0074	五郎台中央公園	便益施設	時計塔	130.333	117.222	13.111
0075	豊ヶ浜運動公園	休養施設	あすまやA	145.585	127.296	18.289
0075	豊ヶ浜運動公園	休養施設	あすまやB	296.212	257.853	38.358
0075	豊ヶ浜運動公園	運動施設	スポーツウォール（壁打ち）	499.148	435.531	63.617
0077	利根公園	便益施設	便所	799.944	720.175	79.768
0081	神之池緑地	園路広場	デッキA	537.625	483.909	53.715
0081	神之池緑地	園路広場	デッキB	537.625	483.909	53.715
0081	神之池緑地	園路広場	八つ橋	488.750	437.444	51.305
0081	神之池緑地	園路広場	浮棧橋	13,800.000	13,731.888	68.111
0081	神之池緑地	園路広場	歩道橋	1,792.083	1,676.180	115.902
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントA	230.000	197.565	32.434
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントB	191.666	165.506	26.160
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントC	383.333	332.581	50.751
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントD	383.333	332.581	50.751
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやA	296.212	260.530	35.681
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやB	296.212	261.818	34.393
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやC	296.212	257.424	38.787
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやD	296.212	257.424	38.787

◇ライフサイクルコスト縮減効果一覧その2

公園番号	公園名	施設分類	施設名称	事後保全LCC	予防保全LCC	単年度当りLCC縮減額
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラA	514.473	473.640	40.833
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラB	325.833	289.684	36.148
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラC	355.454	353.459	1.994
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラD	102.894	91.622	11.271
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラE	274.385	240.672	33.713
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラF	411.578	359.385	52.192
0081	神之池緑地	便益施設	便所A	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所B	409.640	380.340	29.300
0081	神之池緑地	便益施設	便所C	2,695.000	2,416.046	278.953
0081	神之池緑地	便益施設	便所D	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所E	1,373.166	1,261.694	111.472
0081	神之池緑地	便益施設	便所F	2,695.000	2,416.046	278.953
0081	神之池緑地	便益施設	便所G	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所H	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所I	499.560	452.512	47.048
0081	神之池緑地	便益施設	便所J	575.960	528.290	47.670
0081	神之池緑地	便益施設	便所K	582.120	555.056	27.063
0081	神之池緑地	便益施設	便所L	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所M	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	管理施設	倉庫A	346.500	303.583	42.916
0081	神之池緑地	管理施設	倉庫C	577.500	489.083	88.416
0082	和田山緑地	便益施設	便所A	409.640	377.940	31.700
0082	和田山緑地	便益施設	便所B	409.640	382.420	27.220
0083	若松緑地	便益施設	便所	1,373.166	1,259.472	113.694
0083	若松緑地	便益施設	ステージ	337.901	291.543	46.358
0086	土合緑地	園路広場	横断橋	4,344.444	3,889.506	454.938
0086	土合緑地	便益施設	便所	797.720	769.986	27.733
0086	土合緑地	便益施設	展望台	195.500	174.616	20.883
0087	神栖総合公園	園路広場	八つ橋	274.385	264.795	9.590
0087	神栖総合公園	便益施設	便所	575.960	531.490	44.470
合計				50,184.709	46,613.635	3,571.027

(3) 年次計画の策定と平準化

各公園施設ごとに、使用見込み期間のほか、維持保全費、補修、更新等の概算費用を算出し、年度別に集計しました。これを基に、特定の年度に費用が集中したり、年度ごとの事業費に大きなばらつきが生じないように、概算事業費の平準化を行いました。

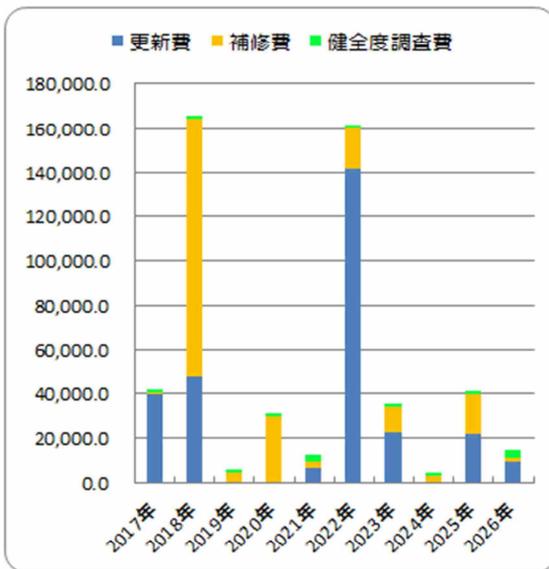
概算事業費（平準化前）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	合計
更新費	39,526.5	47,332.8	0.0	0.0	5,882.0	141,254.9	22,257.0	0.0	21,604.0	8,766.6	286,623.9
補修費	516.0	116,378.0	4,376.8	29,830.6	2,985.0	18,211.2	11,779.8	2,551.8	17,851.4	2,055.0	206,535.6
健全度調査費	1,430.0	1,430.0	1,430.0	1,447.0	3,873.0	1,430.0	1,430.0	1,430.0	1,430.0	3,873.0	19,203.0
合計	41,472.5	165,140.8	5,806.8	31,277.6	12,740.0	160,896.1	35,466.8	3,981.8	40,885.4	14,694.6	512,362.5

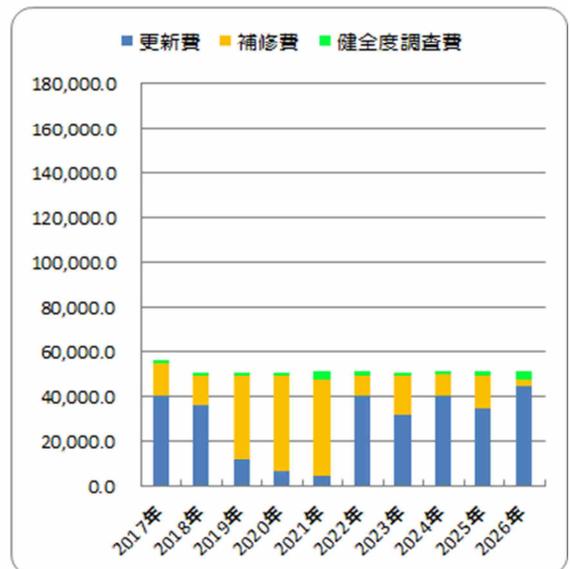
概算事業費（平準化後）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	合計
更新費	39,526.5	35,602.8	11,730.0	6,194.1	4,226.1	39,523.1	31,621.1	39,727.3	34,066.4	44,406.4	286,623.9
補修費	15,032.8	13,528.8	37,494.0	42,954.4	42,888.2	9,646.2	17,478.8	9,707.8	15,256.4	2,548.2	206,535.6
健全度調査費	1,430.0	1,430.0	1,430.0	1,447.0	3,641.0	1,662.0	1,430.0	1,430.0	1,495.0	3,808.0	19,203.0
合計	55,989.3	50,561.6	50,654.0	50,595.5	50,755.3	50,831.3	50,529.9	50,865.1	50,817.8	50,762.6	512,362.5

費用の推移（平準化前）



費用の推移（平準化後）



対象公園ごとの長寿命化対策実施計画

その1

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿命化対象公園施設数	年次計画								単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)		
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025	2026
0001	すみれ児童公園	街区	1973	休養施設、遊戯施設	1973	43	41		四阿鉄棒								鉄棒滑り台	0.0
0002	まつば児童公園	街区	1974	休養施設、遊戯施設、管理施設	1974	42	31			ロープウェイ						鉄棒ブランコ	車止め うんてい滑り台 ロープウェイ	0.0
0003	あけぼの児童公園	街区	1974	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1974	42	31	ガードパイプ	スプリング遊具							スプリング遊具手洗い	バーゴラベンチ 滑り台	10.3
0004	さつき児童公園	街区	1975	休養施設、遊戯施設	1975	41	38		ベンチ							鉄棒ブランコ滑り台	ベンチ うんてい	0.0
0005	あかしあ児童公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1976	40	43									ジャングルジム滑り台	ベンチ鉄棒ブランコ 車止め引込柱 水飲み	0.0
0006	あさひ児童公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設	1976	40	42									鉄棒滑り台	ブランコ ベンチ 滑り台	0.0
0007	さくら児童公園	街区	1985	遊戯施設、便益施設、管理施設	1985	31	32	ガードパイプ								鉄棒滑り台	ブランコ 水飲み 滑り台	0.0
0008	わかば児童公園	街区	1977	休養施設、遊戯施設、管理施設	1977	39	43									鉄棒ブランコ滑り台	引込柱 ベンチブランコ滑り台	0.0
0009	ひまわり児童公園	街区	1977	休養施設、遊戯施設、管理施設	1977	39	50		ベンチ							鉄棒滑り台	ガードパイプ ベンチブランコ 滑り台 バーゴラ	25.0
0010	くるみ児童公園	街区	1977	遊戯施設	1977	39	56		ロープウェイ							可動遊具	複合遊具 可動遊具ブランコ ロープウェイ	0.0
0011	つばき児童公園	街区	1978	休養施設、遊戯施設、管理施設	1978	38	35									引込柱	スプリング遊具 ベンチブランコ 滑り台	0.0
0012	あすなろ児童公園	街区	1978	休養施設、遊戯施設、管理施設	1978	38	41									バーゴラ	滑り台 ザイルクライミング ベンチブランコ ネットフェンス案内板引込柱 滑り台 バーゴラ	24.3
0013	つつし児童公園	街区	1978	遊戯施設、便益施設、管理施設	1978	38	27	ガードパイプ								便所	滑り台 鉄棒 ガードパイプ ガードパイプ 滑り台	0.0
0014	しらゆり児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1979	37	34										滑り台 引込柱外灯 時計 滑り台	0.0
0015	はまゆう児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、管理施設	1979	37	49		ベンチ								滑り台 鉄棒 ブランコ 滑り台 外灯	0.0
0016	かえで児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、管理施設	1979	37	36		ブランコ								滑り台 ベンチ ガードパイプ バーゴラ滑り台 バーゴラ	23.9
0017	ちみのき児童公園	街区	1979	遊戯施設	1979	37	20										ブランコ 鉄棒 ベンチ ブランコ	0.0
0018	つくし児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1979	37	34										便所 ブランコ トライアルラダー クライムネット 鉄棒滑り台 水飲み引込柱 ブランコ バーゴラ	15.4
0019	うずも児童公園	街区	1980	休養施設、遊戯施設	1980	36	62										複合遊具 滑り台 クライムネット 鉄棒ブランコ ベンチ複合遊具 滑り台 バーゴラ	15.2
0020	きさき児童公園	街区	1980	休養施設、遊戯施設、管理施設	1980	36	41	引込柱外灯	ベンチ滑り台								ジャングルジム 鉄棒 ブランコ 滑り台 ジャングルジム	0.0
0021	いずみ児童公園	街区	1980	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1980	36	30										便所 トライアルラダー ベンチ鉄棒滑り台 引込柱 ブランコ トライアルラダー	0.0
0022	よこせ児童公園	街区	1981	遊戯施設、便益施設、管理施設	1981	35	38										滑り台 鉄棒 ブランコ 手洗い水飲み引込柱 滑り台	0.0

健全度調査 補修 更新

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿命化対象公園施設数	年次計画								単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)			
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025	2026	
0023	ふかしば児童公園	街区	1981	休養施設、遊戯施設、管理施設	1981	35	36	ガードパイプ	バーゴラ	ブランコ	バーゴラ	滑り台	ザイルクライミング	バーゴラ		ブランコ滑り台	バーゴラ	21.2	
0024	ルビナス児童公園	街区	1982	遊戯施設、管理施設	1982	34	24					トライアルラダー滑り台		ブランコ		ネットフェンス引込柱	トライアルラダー	0.0	
0025	柳堀児童公園	街区	1983	休養施設、遊戯施設、管理施設	1983	33	28					滑り台		ブランコ		ガードパイプ	バーゴラ	15.0	
0026	鱒川児童公園	街区	1984	遊戯施設、便益施設、管理施設	1984	32	28					ネットフェンス	スプリング遊具 ムービング遊具	引込柱		水飲み時計		0.0	
0027	萩原児童公園	街区	1984	休養施設、遊戯施設、便益施設	1984	32	34		ベンチ			ブランコ	クライムネット	水飲み		ブランコ		0.0	
0028	高浜児童公園	街区	1984	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1984	32	36		案内板				ガードパイプ	水飲み				0.0	
0029	日川児童公園	街区	1985	休養施設、遊戯施設、便益施設	1985	31	26		ベンチ 鉄棒			ブランコ		水飲み		鉄棒 ブランコ		0.0	
0030	息栖原児童公園	街区	1986	休養施設、遊戯施設	1986	30	33		ベンチ			滑り台	鉄棒	ベンチ ブランコ		滑り台		0.0	
0031	田畑児童公園	街区	1986	遊戯施設、便益施設	1986	30	25					ブランコ		水飲み		ブランコ		0.0	
0032	一貫野児童公園	街区	1987	休養施設、遊戯施設、管理施設	1987	29	26		あずまや			滑り台	鉄棒	引込柱		滑り台		0.0	
0033	大野原児童公園	街区	1988	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1988	28	35		ベンチ		便所	ブランコ		引込柱		ブランコ		0.0	
0034	芝崎児童公園	街区	1988	遊戯施設	1988	28	27					滑り台		ブランコ		滑り台		0.0	
0035	うずも坂児童公園	街区	1990	休養施設、遊戯施設、便益施設	1990	26	54				ブランコ		展望台	つんてい展望台	ベンチ 鉄棒 滑り台	ベンチ ブランコ	展望台	38.3	
0036	五郎台南児童公園	街区	1991	休養施設、遊戯施設、管理施設	1991	25	31		ブランコ 滑り台	ジャングルジム			滑り台	引込柱	ベンチ	ブランコ ジャングルジム		0.0	
0037	五郎台東児童公園	街区	1992	遊戯施設	1992	24	33					滑り台		鉄棒 スプリング遊具 ブランコ		滑り台		0.0	
0038	亀の甲児童公園	街区	1992	休養施設、遊戯施設、管理施設	1992	24	38	止水栓	バーゴラ	ジャングルジム 滑り台				鉄棒 ブランコ	ベンチ	ジャングルジム 滑り台		0.0	
0039	立野街区公園	街区	1995	休養施設、遊戯施設	1995	21	39		ベンチ	鉄棒 スプリング遊具				複合遊具	ブランコ	ベンチ	鉄棒 スプリング遊具	0.0	
0040	潮騒街区公園	街区	1998	休養施設、遊戯施設、管理施設	1998	18	49		ベンチ 鉄棒 ロープ ウェイ	滑り台				メッシュフェンス	ブランコ		鉄棒 滑り台 ロープ ウェイ	0.0	
0041	ひかり街区公園	街区	2000	遊戯施設、管理施設	2000	16	68					滑り台		鉄棒	ガードパイプ ネット フェンス		滑り台	0.0	
0042	若松南街区公園	街区	2000	遊戯施設	2000	16	110			スプリング遊具	鉄棒 スプリング遊具				滑り台		鉄棒 スプリング遊具	0.0	
0043	吉松北街区公園	街区	2005	休養施設、遊戯施設	2006	10	47			複合遊具	ブランコ ロープ ウェイ				鉄棒 スプリング遊具 ムービング遊具	ベンチ	ブランコ ロープ ウェイ 複合遊具	0.0	
0044	いずみ野街区公園	街区	2005	修養施設、休養施設、遊戯施設	2006	10	56		ベンチ スプリング遊具 運動遊具	複合遊具	ブランコ タワー ネット 健康遊具	モノ メント バーゴラ			運動遊具	ベンチ スプリング遊具	複合遊具	モノ メント バーゴラ	27.6

健全度調査 補修 更新

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿化対象公園施設数	年次計画									単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)		
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026	
0045	平泉外十二入会街区公園	街区	2004	休養施設、遊戯施設	2004	12	44		うんてい スプリング 遊具 複合遊具			バーゴラ	バーゴラ	うんてい	ブランコ	スプリング 遊具 複合遊具		バーゴラ	19.1
0046	大沼公園	街区	1993	休養施設、遊戯施設	1993	23	28		あずまや			あずまや		引込柱	テーブル ベンチ		あずまや	34.4	
0047	大野原南街区公園	街区	1987	休養施設、遊戯施設、 便益施設	1987	29	34		あずまや ブランコ	ジャンプ ルジム	便所			ブランコ	野外卓 ジャンプ ルジム			0.0	
0048	豊ヶ浜児童公園	街区	1971	休養施設、遊戯施設、 便益施設	1971	45	28				鉄棒 滑り台 便所			ブランコ	ベンチ	滑り台		0.0	
0049	仲町公園	街区	1986	遊戯施設	1986	30	22		鉄棒 滑り台		ブランコ			滑り台		鉄棒 ブランコ		0.0	
0050	土合2号公園	街区	1976	休養施設	1976	40	12		ベンチ									0.0	
0051	土合3号公園	街区	1976	遊戯施設	1976	40	22		滑り台		ブランコ			滑り台		ブランコ		0.0	
0052	土合4号公園	街区	1976	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1976	40	29		ブランコ		滑り台 便所			ネット フェンス 引込柱 外灯	滑り台			0.0	
0053	土合5号公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1976	40	45	ネット フェンス	ベンチ 鉄棒 スプリング 遊具		スプリング 遊具 ブランコ			鉄棒 スプリング 遊具 滑り台	スプリング 遊具 ブランコ			0.0	
0054	土合6号公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1976	40	19				滑り台		止水栓 量水器	ブランコ	ベンチ 滑り台			0.0	
0055	若松中央児童公園	街区	1986	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1986	30	83				休憩舎	スプリング 遊具 ジャンプ ルジム	鉄棒 スプリング 遊具	水飲み 外灯	ブランコ		休憩舎	47.0	
0056	ひばり第1児童公園	街区	1986	遊戯施設	1986	30	55				滑り台	うんてい	ネット クライム	鉄棒 ブランコ	滑り台			0.0	
0057	ひばり第2児童公園	街区	1986	遊戯施設	1986	30	23				ブランコ			滑り台	ブランコ			0.0	
0058	押揚児童公園	街区	1983	修景施設、休養施設、 遊戯施設	1983	33	33				滑り台	鉄棒		ブランコ	ベンチ 滑り台		モニュ メント	10.2	
0059	三番蔵児童公園	街区	1983	遊戯施設	1983	33	26				ブランコ			滑り台	ブランコ			0.0	
0060	新町公園	街区	1983	休養施設、遊戯施設、 便益施設	1983	33	48		ベンチ	便所				スプリング 遊具				0.0	
0061	宝山児童公園	街区	1988	遊戯施設	1988	28	17		ベンチ		滑り台			ブランコ		滑り台		0.0	
0062	西宝山児童公園	街区	1993	遊戯施設、管理施設	1993	23	58				ブランコ	クライム ネット	スプリング 遊具	ネット フェンス		ブランコ		0.0	
0063	北若松団地1号公園	街区	1976	遊戯施設、管理施設	1976	40	22				滑り台			メッシュ フェンス		滑り台		0.0	
0064	北若松団地2号公園	街区	1976	遊戯施設、管理施設	1976	40	19				滑り台	鉄棒		ブランコ		滑り台	ネット フェンス	0.0	
0065	北若松団地3号公園	街区	1976	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1976	40	18	小屋			ブランコ			水飲み ネット フェンス		ブランコ		0.0	
0066	柳川団地1号公園	街区	1976	管理施設	1976	40	11	ネット フェンス					止水栓					0.0	

健全度調査 補修 更新

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿化対象公園施設数	年次計画									単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)		
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026	
0067	柳川団地2号公園	街区	1976	管理施設	1976	40	8												0.0
0068	柳川団地3号公園	街区	1976	遊戯施設、管理施設	1976	40	10						ネットフェンス	滑り台					0.0
0069	柳川団地4号公園	街区	1976		1976	40	9												0.0
0070	波崎灯台跡公園	街区	2008	園路広場、休養施設、便益施設	2008	8	128	複合遊具	休憩所				便所 時計 展望塔	ベンチ 緑台 便所		複合遊具	便所 時計 展望塔	177.2	
0071	なまか夕日の郷公園	街区	2009	遊戯施設、便益施設	2009	7	56		滑り台			ブランコ ロープ ウェイ	展望 デッキ	滑り台		ブランコ ロープ ウェイ	展望 デッキ	48.3	
0072	息栖運動広場	近隣	1988	休養施設、管理施設	1988	28	57	ネット フェンス				バーゴラ	ガード パイプ	ベンチ			バーゴラ	20.8	
0073	平泉多目的広場	近隣	1992	遊戯施設、運動施設、管理施設	1992	24	46					鉄棒 滑り台	引込柱	ブランコ		鉄棒 滑り台		0.0	
0074	五郎台中央公園	近隣	1999	休養施設、便益施設	1999	17	46			便所 時計塔		バーゴラ 時計塔		ベンチ			バーゴラ 時計塔	47.9	
0075	豊ヶ浜運動公園	近隣	1976	休養施設、遊戯施設、運動施設	1976	40	85	ブランコ 滑り台				ロープ クライム 健康遊具				ブランコ 滑り台	四阿 スポーツ ウォール	120.3	
0076	童子女の松原公園	近隣	1998	管理施設	1998	18	69					照明施設						0.0	
0077	利根公園	近隣	1978	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1978	38	116	ネット フェンス	スプリ ング遊具 ブランコ 滑り台			ジャング ルジム	水飲み	ベンチ スプリ ング遊具	便所	ブランコ 滑り台 ジャング ルジム	便所	79.8	
0078	土合運動公園	近隣	1974	便益施設、管理施設	1974	42	57	便所				車止め						0.0	
0079	土合1号公園	近隣	1976	休養施設、遊戯施設、管理施設	1976	40	40		スプリ ング遊具			鉄棒 トライア ルラダー	スプリ ング遊具 引込柱	ベンチ ブランコ 滑り台		鉄棒 スプリ ング遊具	トライア ルラダー	0.0	
0080	宝山公園	地区	1981	便益施設、管理施設	1981	35	38		防護柵 案内板	便所		ネット フェンス 水飲み						0.0	
0081	神之池緑地	緩緑	1973	園路広場、修景施設、休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1973	43	1427	便所 木柵	あずま や ネット フェンス 車止め	浮橋 バーゴラ 便所 ネット フェンス	浮橋 便所 ネット フェンス	浮橋 歩道橋 遊具	遊具 便所 柵	橋梁 ベンチ 遊具	健康遊具 便所	便所 倉庫 遊具	健康遊具 便所	1,973.4	
0082	和田山緑地	緩緑	1975	休養施設、便益施設、管理施設	1975	41	270	ベンチ ネット フェンス	手洗い 車止め	便所	便所 車止め	便所	水飲み ガード パイプ 外灯				便所	58.9	
0083	若松緑地	緩緑	1976	園路広場、休養施設、便益施設、管理施設	1976	40	251	止水柱 柵	あずま や ベンチ 車止め	テーブル ベンチ 便所	車止め	便所 ステージ	水飲み 車止め 外灯			ステージ	ステージ	160.1	
0084	日川緑地	都緑	1983	便益施設、管理施設	1983	33	23						手洗い 水飲み	引込柱				0.0	
0085	砂山都市緑地	都緑	2004		2004	12	97											0.0	
0086	土合緑地	都緑	1976	園路広場、休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1980	36	149	横断橋	防護柵			滑り台 ロープ ウェイ 複合遊具	ベンチ ネット フェンス 防護柵	ベンチ			横断橋 便所 展望台	503.6	
0087	神栖総合公園	総合	2006	園路広場、遊戯施設、便益施設	2006	10	332					特殊遊具			便所		ハフ橋 便所	54.1	
合計																		3,571千円	

健全度調査 補修 更新

概算費用合計 512,362 (千円)